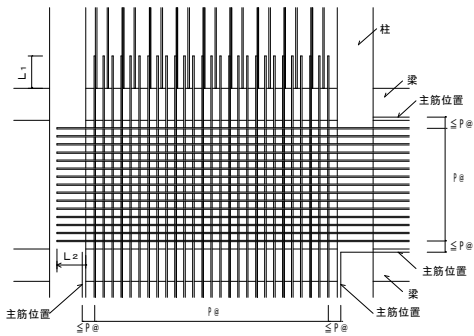


9.1 壁

- (a) 一般事項
 (1) 壁配筋の重ね継手及び定着の長さは、重ね継手長さをL、定着長さをLとする。鉄筋の継手位置は、柱、梁部以外とする。
 (2) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 (3) 打増し部分に壁及びスラブ等が取付く場合は、鉄筋の定着長さに打増し部分を含まない。



(注) 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

図9.1 壁の配筋

- (b) 壁の基準配筋は表9.1により、種別は構造図による。

表9.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200#シングル	120
W15A	D10-150#シングル	150
W15B	D10-100#シングル	150
W18A	D10-200#ダブル	180
W18B	D10-150#ダブル	180
W20A	D10-200#ダブル	200
W20B	D10-150#ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

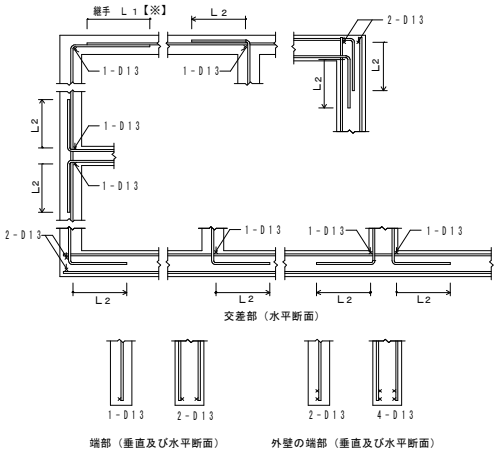
- (c) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表9.2により、種別は構造図による。

表9.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別 (表11.1)
KW1	縦筋 D13-200#ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200#ダブル		
KW2	縦筋 D13-150#ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200#ダブル		

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

- (d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。
 (e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図9.2による。



※ 耐震壁の重ね継手長さは、4.1(a)(2)(注)3に規定する継手長さ

図9.2 壁の交差部及び端部の配筋

9.2 壁の補強

- (a) 壁開口部の補強
 (1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表9.3、B形は表9.4とし、適用は13.3(b)(1)による。なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表9.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種類	縦筋	補強筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	2-D13

表9.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種類	縦筋	補強筋	斜め
W12, W15	2-D13	1-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13	2-D13

- (2) 壁開口部補強の定着長さは、図9.3による。

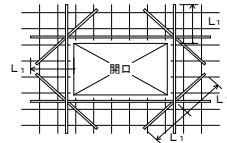


図9.3 壁開口部補強の定着長さ

- (b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、13.3(b)(3)による。

10.1 スラブ

- (1) スラブ及び土間コンクリートの上り下り筋は、FLを基準とした寸法値とする。
 (2) 土間スラブ下の砂利地層厚及び捨てコンクリート厚は13.1(1)による。
 (3) 土間コンクリート補強筋(S0)の配筋及びコンクリート厚さは13.4(a)(1)による。
 (4) スラブの基準配筋(S形基準配筋)は表10.1及び図10.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表10.1 S形基準配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域		長辺方向 (配力筋) 全域	
	上	下	上	下
CS1	D13-100#	D13-200#	D10, D13-150#	D10-150#
S1	D13-100#	D13-100#	D10, D13-150#	D10-150#
S2	同上	D13-150#	S9	同上
S3	同上	D10, D13-150#	S10	D10, D13-200#
S4	D13-150#	D13-150#	S11	同上
S5	同上	D10, D13-150#	S12	同上
S6	同上	D10-150#	S13	D10-200#
S7	D10, D13-150#	D10, D13-150#	S14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

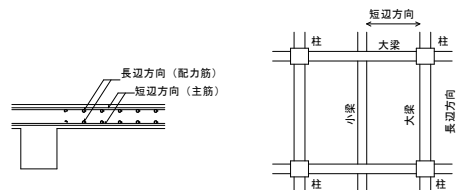


図10.1 スラブの配筋

- (5) 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
 (6) 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
 (7) 定着長さ及び受け筋は、図10.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図10.3により梁内に定着する。

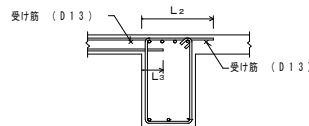


図10.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

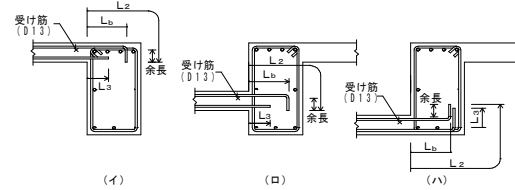


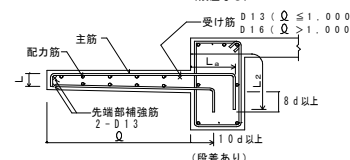
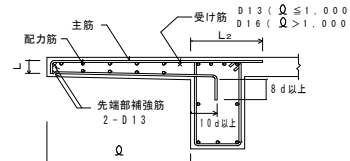
図10.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

10.2 片持スラブ

- 片持スラブの配筋は、次による。
 (1) 片持スラブの基準配筋 (CS形基準配筋) は、表10.2並びに図10.4及び図10.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

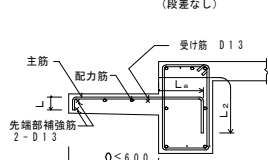
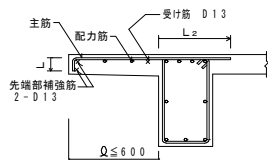
表10.2 CS形基準配筋

配筋種別	主筋	
	上	下
CS1	D13-100#	D13-200#
CS2	D13-150#	D13-300#
CS3	D10, D13-150#	D10, D13-300#
CS4	D10, D13-200#	D10-200#
CS5	D10-200#	D10-400#
CS6	D10, D13-200#	—
CS7	D10-200#	—



(注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図10.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図10.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

- (2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図10.6による。

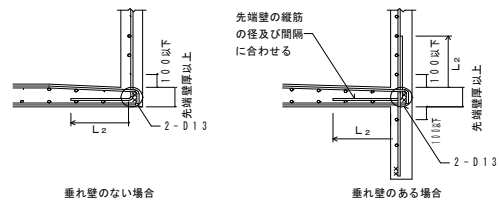


図10.6 先端に壁が付く場合の配筋

- (3) 出隅部
 (1) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図10.7による。
 (1) 出隅受け部分 (図10.7の斜線部分) の補強筋は構造図による。

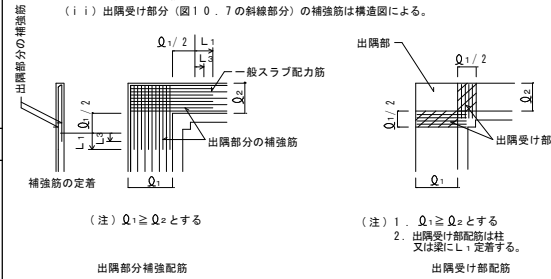


図10.7 片持スラブ出隅部の補強配筋

10.3 スラブ等の補強

- (a) スラブ開口部の補強
 スラブ開口部の補強は、特記による。
 (1) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図10.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (Q=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。

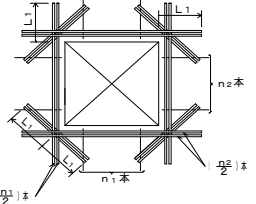


図10.8 スラブ開口部の補強配筋

- (1) スラブ開口の最大径が同方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

- (b) 屋根スラブの補強
 屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図10.9により、補強筋を上下筋の下側に配置する。

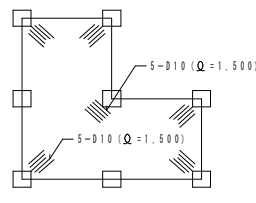


図10.9 出隅及び入隅部の補強配筋

- (c) 土間スラブの打継ぎ補強
 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図10.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。
 a>300の場合は特記による。

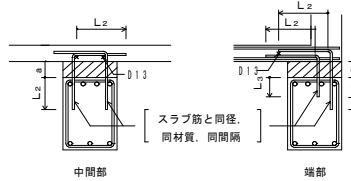


図10.10 打継ぎ補強配筋

- (d) 土間コンクリートの補強
 土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図10.11による。
 a>300の場合は特記による。

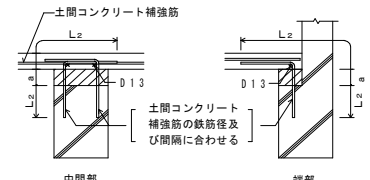


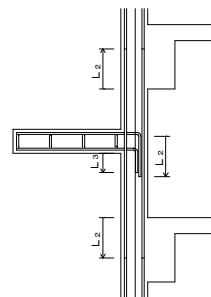
図10.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

11.1 片持スラブ形階段

- 片持スラブ形階段の基準配筋は、表11.1及び図11.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表11.1 片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	階段の配筋	
	KA1	KA2
配筋図	D13-300#	D13-300#
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D13-300#	D13-300#



- (注) 1. 壁筋は、9.1(c)による。
 2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから壁に下ろす。
 3. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表4.3【鉄筋の定着の長さ】のLaとする。

図11.1 片持スラブ形階段配筋の定着

11.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表11.2並びに図11.2及び図11.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表 11.2 二辺固定スラブ階段配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13, D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

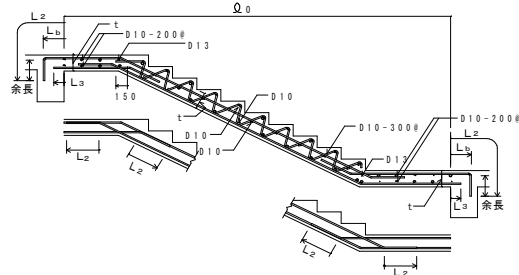
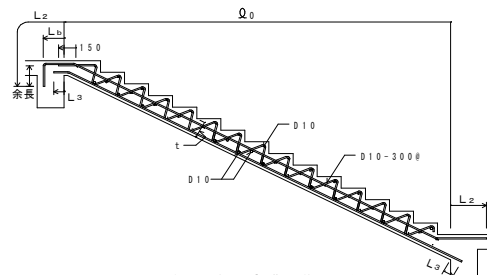


図 11.2 二辺固定スラブ階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ階段配筋を準用する。

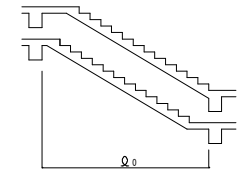


図 11.3 二辺固定スラブ階段配筋 (その2)

12.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図12.1による。
 - 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。孔が円形でない場合はこの外接円とする。
 - 孔の上下方向の位置は図12.2による。
 - 孔は、柱面から原則として、1.5D(Dは梁せい)以上とする。ただし、基礎梁及び壁付帯梁を除くが、その場合の範囲は特記による。
 - 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - 補強筋は、主筋の内側とする。また、縦筋の定着長さは、図12.3による。
 - 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにし、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 - 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 - 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 - 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。貫通孔の位置は図12.4のように開口をはさむ±4.5度の領域(ハッチ部)には他の開口を設けないこととする。

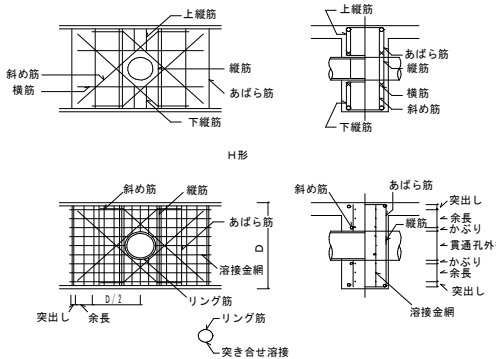
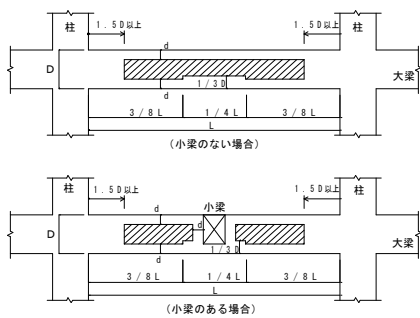


図 12.1 梁貫通孔補強筋の名称等



- : 梁貫通孔を設置出来る範囲
- (注) 1. 梁貫通孔のへりあき寸法dは下記による
 $500 \leq D < 700$... $d \geq 175$
 $700 \leq D < 900$... $d \geq 200$
 $900 \leq D$... $d \geq 250$

図 12.2 梁貫通孔の設置範囲

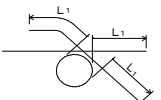


図 12.3 補強筋の定着長さ

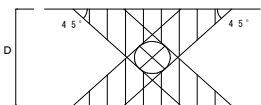


図 12.4 他の開口を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表12.1~表12.3により、配筋種別は構造図による。

表 12.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1		なし		なし	
H2	2-2-D13		なし		
H3	4-2-D13				
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16				
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22				

(注) — は、一般部分のあばら筋を示す。

表 12.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13		
M2	4-2-D13	なし	
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13		

(注) — は、一般部分のあばら筋を示す。

表 12.3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1		なし		
MH2	2-2-D13		なし	
MH3	2-2-D13			
MH4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16			
MH7	4-2-D19	4-2-D13	2-6φ-100#	

(注) — は、一般部分のあばら筋を示す。

12.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

- (a) 控壁は、次による。
- 控壁の配筋は、構造図による。
 - 配筋は、図12.5による。

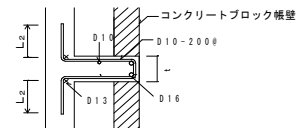


図 12.5 控壁の配筋(水平、垂直とも)

(b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図12.6による。

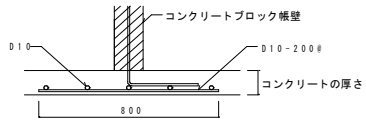


図 12.6 壁付き土間コンクリートの補強配筋

12.3 パラベット

パラベットの先端補強筋は、図12.7による。尚、コンクリート厚さ及びパラベット配筋は構造図による。

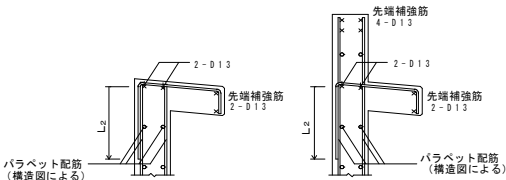


図 12.7 パラベットの配筋

13. その他

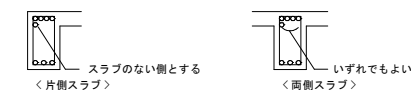
13.1 地業

(1) 土間コンクリート・土間スラブ下

土間コンクリート厚さ	一般室	その他
	右記以外に適用する。	風除室・ポーチ・外部通路・車路
100mm以上		
50mm以上		
凡例		

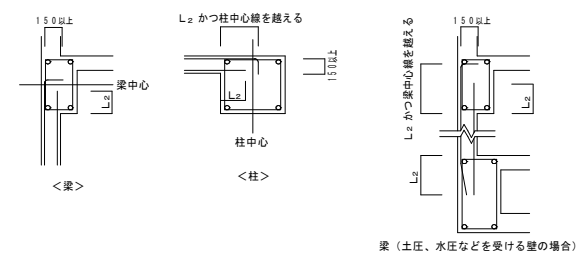
13.2 異形鉄筋の末端処理

- (a) 梁
- (1) 梁の2段非対称配筋は下図による。

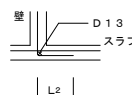


13.3 壁の配筋

- (a) 定着
- (1) 壁筋が、梁、柱主筋の外側に配筋される場合の定着は下図による。

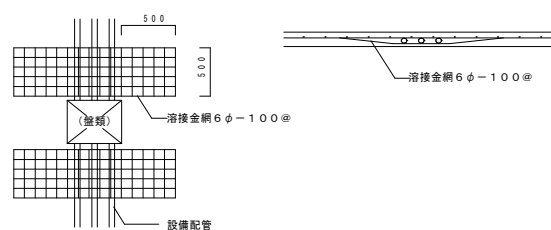


- (2) 壁筋をスラブに定着させる場合は下図による。

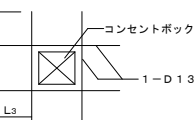


(b) 壁開口部の補強

- (1) 開口補強(設備開口を含む)は特記による。
- (2) シングル配筋の壁で壁筋が埋設される場合は、下記補強を行う。

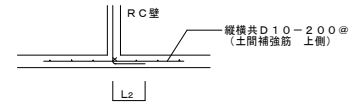


- (3) コンセントボックスの補強は下記による。(但し、最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにし、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。)



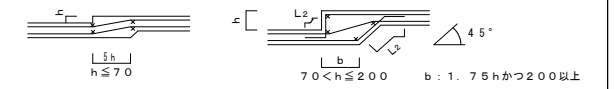
13.4 スラブの配筋

- (a) 土間コンクリート
- 土間コンクリート厚は130。補強筋はタテ・ヨコφD10-200#シングルとする
 - 土間コンクリートの上にRC壁が取り付け、その下に地中梁がない場合は、下図の補強を行う。

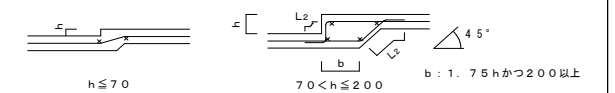


(b) 段差のあるスラブの補強

- (1) 同一土間スラブに段差がある場合、下図の補強を行う。但し、h>200の場合は、特記による。

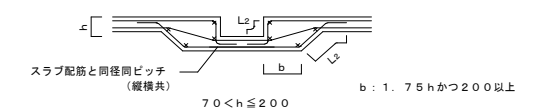


- (2) 同一土間コンクリートに段差がある場合、下図の補強を行う。但し、h>200の場合は、特記による。

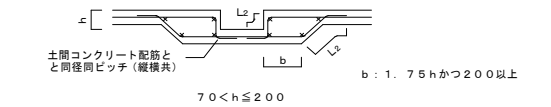


(c) トラフの補強

- (1) スラブにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。但し、h>200の場合は、特記による。

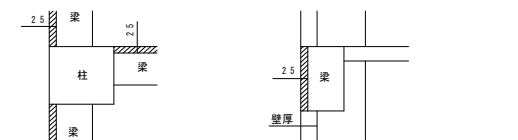


- (2) 土間コンクリートにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。但し、h>200の場合は、特記による。

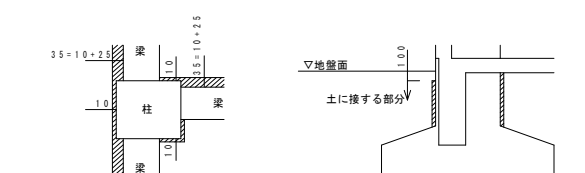


13.5 その他の配筋

- (a) 打増し
- 打増し部分は、かぶり厚さに含まない。ただし、土に接する柱は除く。
 - 部材の軸方向の補強筋の定着長さはL2とする。
 - 打増し部が70mm未満の場合、補強を行わない。
 - 柱と梁が同一面とする場合の打増しは下図による。(躯体取合いによる打増しとし、仕上による打増しは含まない。)



(6) 土に接する部分の打増し



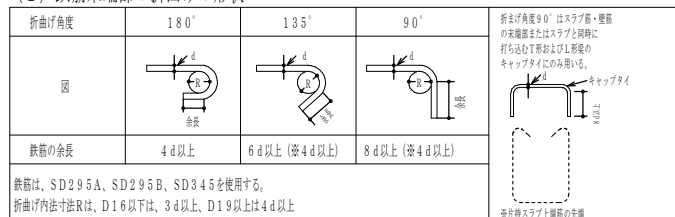
壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 - d: 異形鉄筋の呼び名に用いた数値
 - D: ...部材の径
 - R: ...直
 - φ: ...間隔
 - r: ...半径
 - ∅: ...中心線
 - ∅: ...材料間の内法距離
 - ST: ...あばら筋
 - HOOP: ...帯筋
 - S. HOOP: ...補強帯筋
 - φ: ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状



(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の位置箇所による鉄筋	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ(R)
R	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295A	D16以下	3d以上
		SD295B, SD345	D19以上	4d以上
R	上記以外の鉄筋	SD295A	D16以下	4d以上
		SD295B, SD345	D19~D25	6d以上

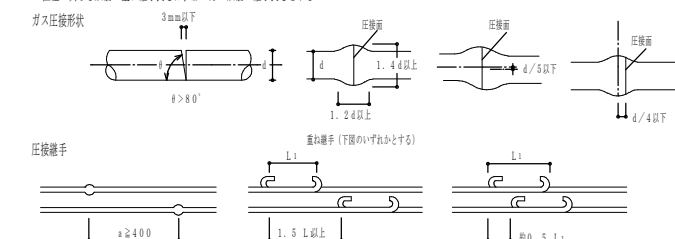
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	小梁	スラブ	
SD295A	21, 22, 23, 24	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき
SD295B	18	40d または 30d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上	45d または 35d フックつき
SD345					

コンクリートは普通Fc=18N/mm²以上24N/mm²以下、軽量Fc=18N/mm²

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手は、継ぎ方の鉄筋の継手長さとする



(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

構造部分	最小かぶり厚さ (mm)		設計かぶり厚さ (mm)	
	室内	室外	室内	室外
縦筋スラブ・床スラブ、片持ちスラブ **・非耐力壁	20	30*	30	40*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30	40*	40	50*
上に接する耐力壁・床スラブ・基礎の立上がり部分・高梁つなぎ梁	40		50	
基礎 (壁コンクリート部分を除く)	60		70	

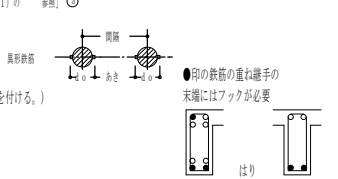
[注] * 外壁の露出に面する部位に耐火性土有等級土仕上げがある場合は、露出側の部分に又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
** 片持ちスラブは、最小かぶり30mmとする。 [8-(1) の 事項]

(5) 鉄筋のあき

- 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- 帯筋の最大寸法の1.25倍以上かつ2.5以上

(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

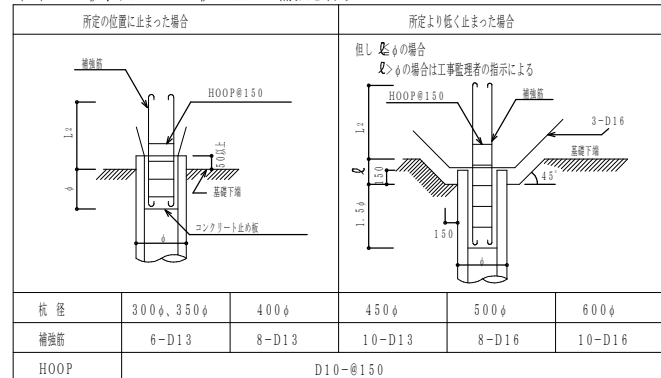
- 壁長が1m以下の壁筋の末端
- あばら筋、帯筋
- 埋戻の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁を除く) の出っ張り部分の鉄筋 (右図参照)
- 基礎梁の下筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所



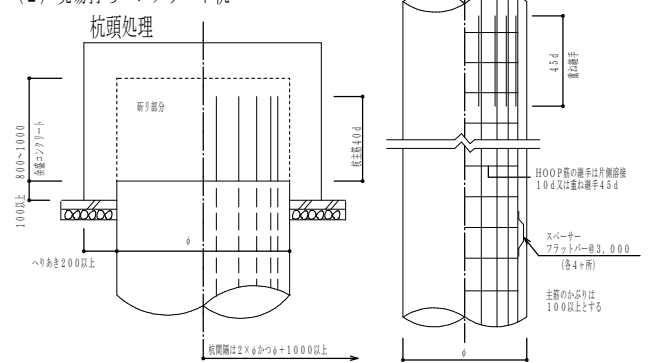
3. 杭

(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

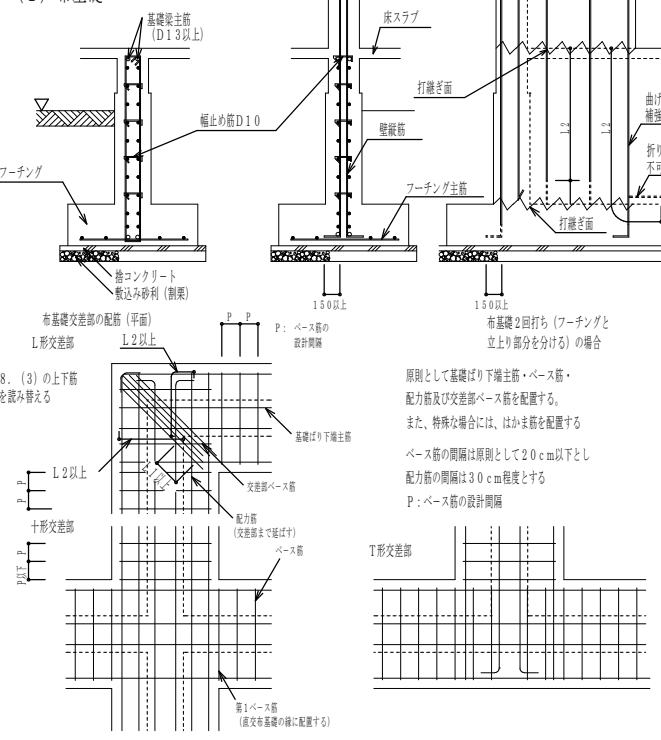


(2) 現場打ちコンクリート杭

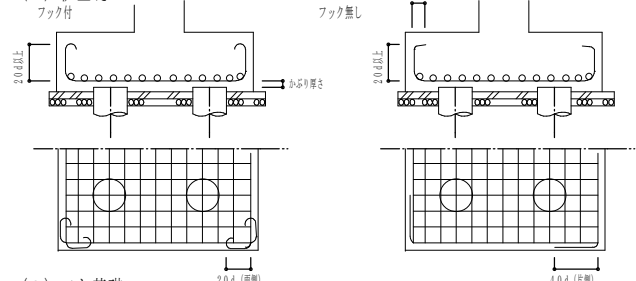


4. 基礎

(1) 布基礎



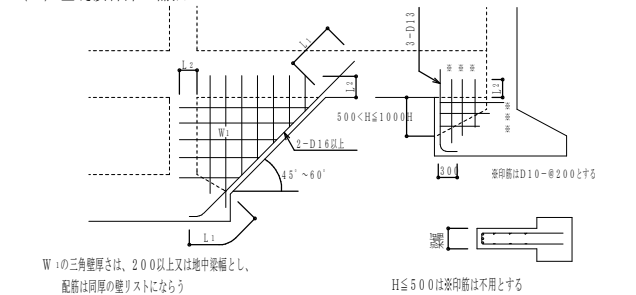
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎

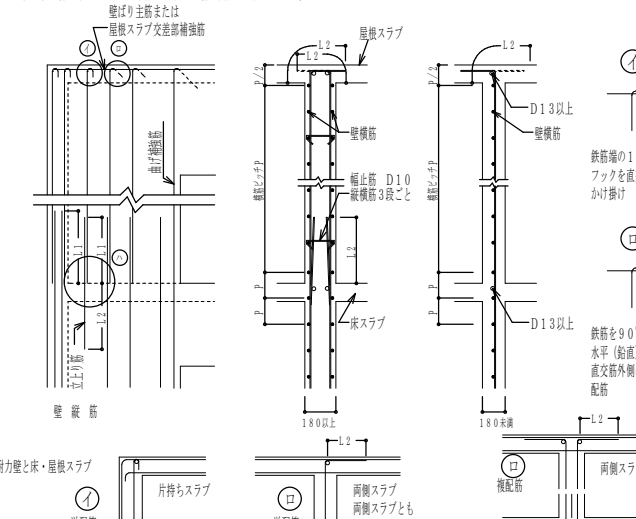


(4) 基礎接合部の補強

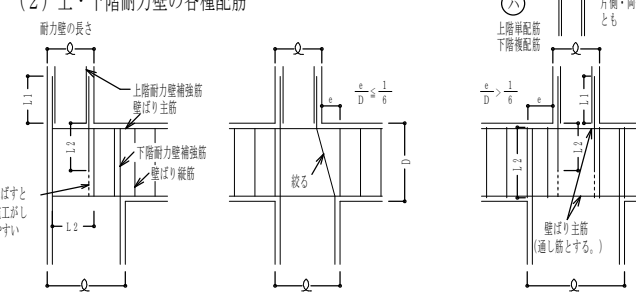


5. 耐力壁

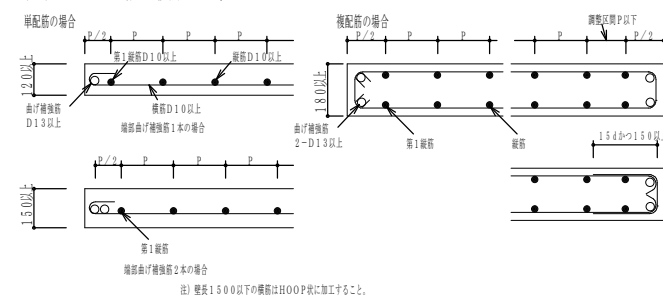
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



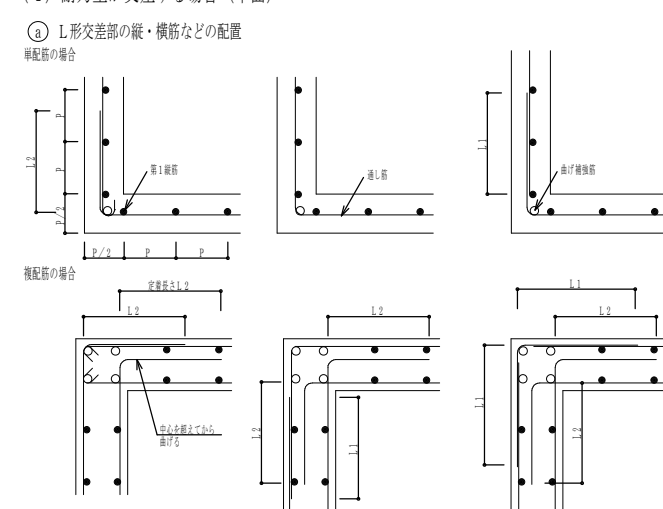
(2) 上・下階耐力壁の各種配筋



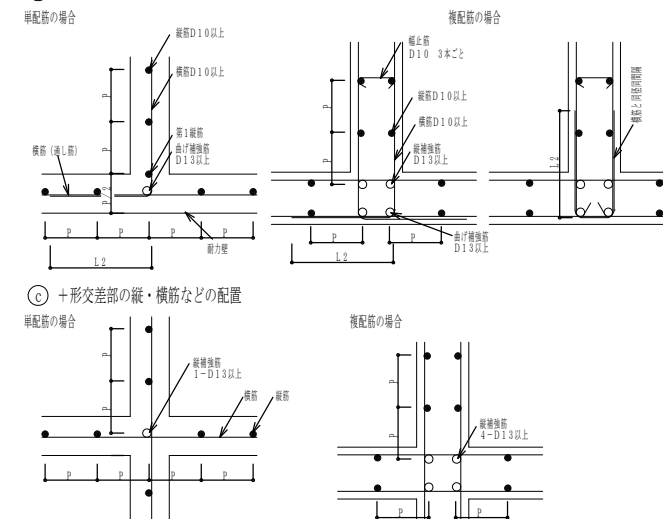
(3) 耐力壁の縦・横筋の配置



(4) 耐力壁が交差する場合 (平面)



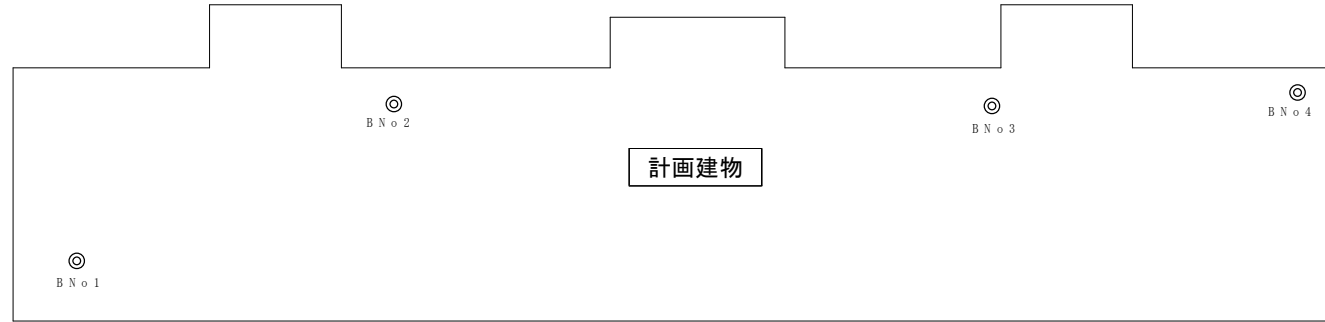
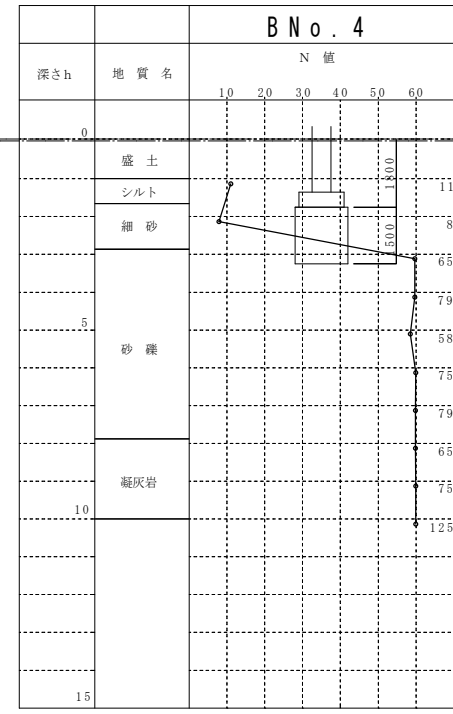
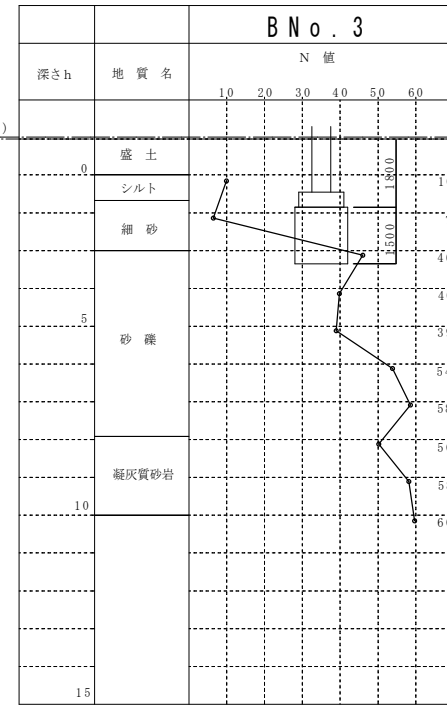
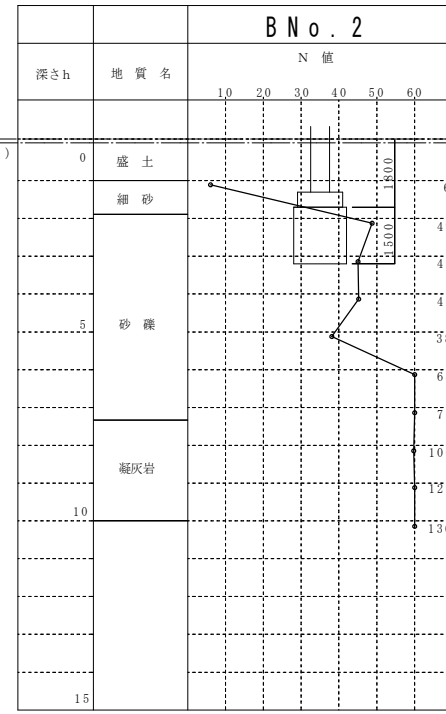
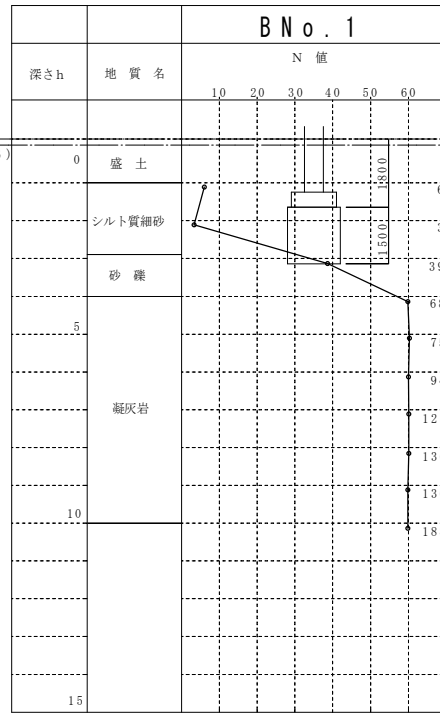
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着

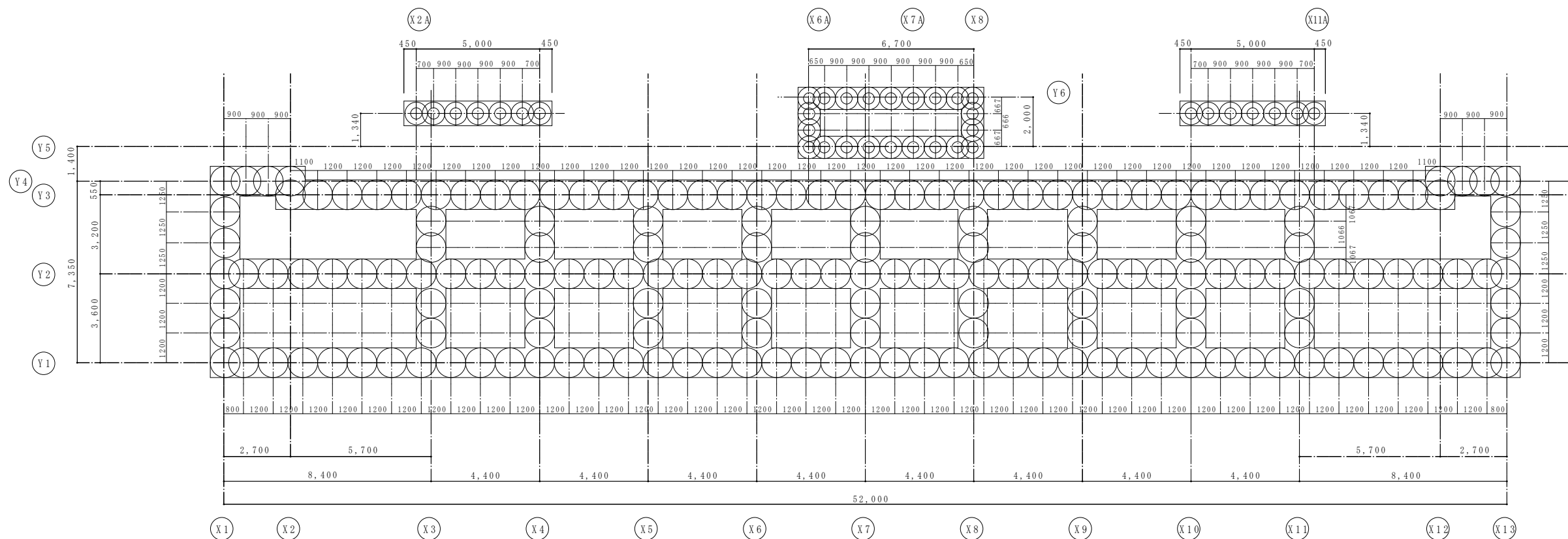


6. 使用可能な鉄筋の最大径 (標準)

部位	耐力壁	壁がりょう小梁	布基礎基礎梁	基礎スラブ	非耐力壁	塀
構造種別	壁式鉄筋コンクリート造					
鉄筋	D22	D22	D25	D16	D16	D16

地層想定断面図





地盤改良伏図 1/100

ソイルセメントコラム工法
 改良深さ GL-3.3m
 空堀深さ GL-1.85m
 改良長さ L=1.45m

◎ 改良径 φ900
 ○ 改良径 φ1200

・特記事項

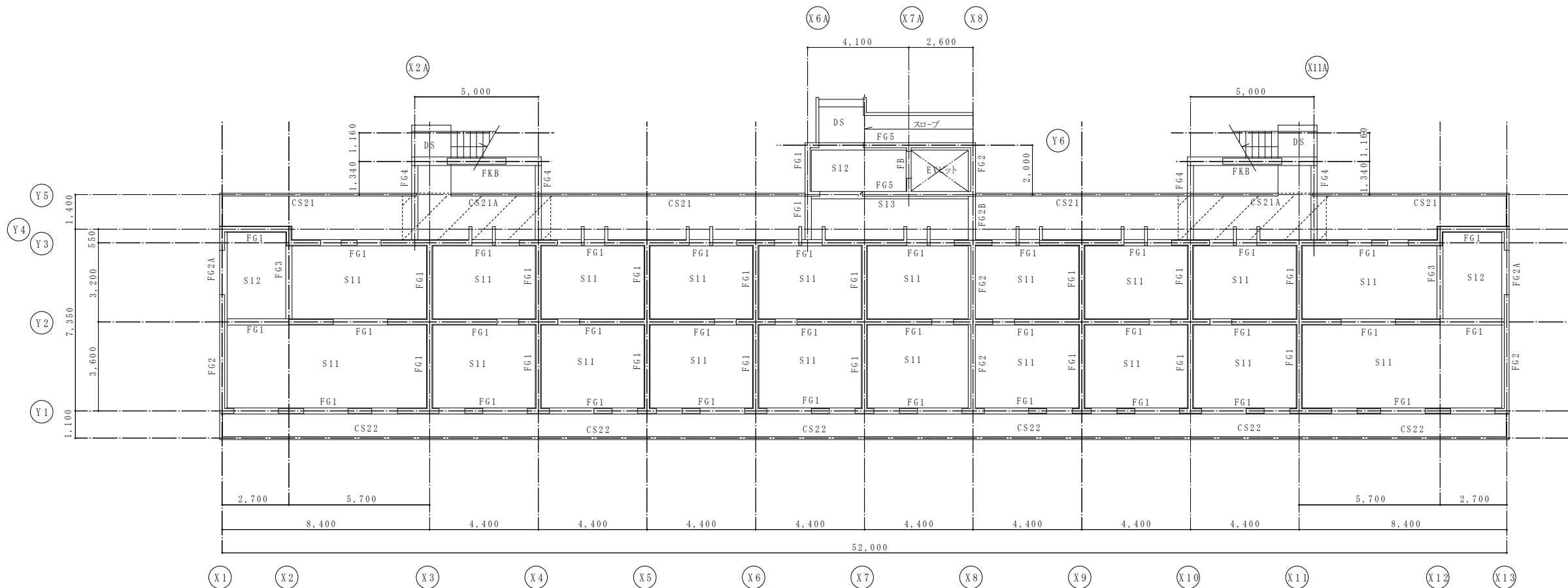

株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	地盤改良伏せ図

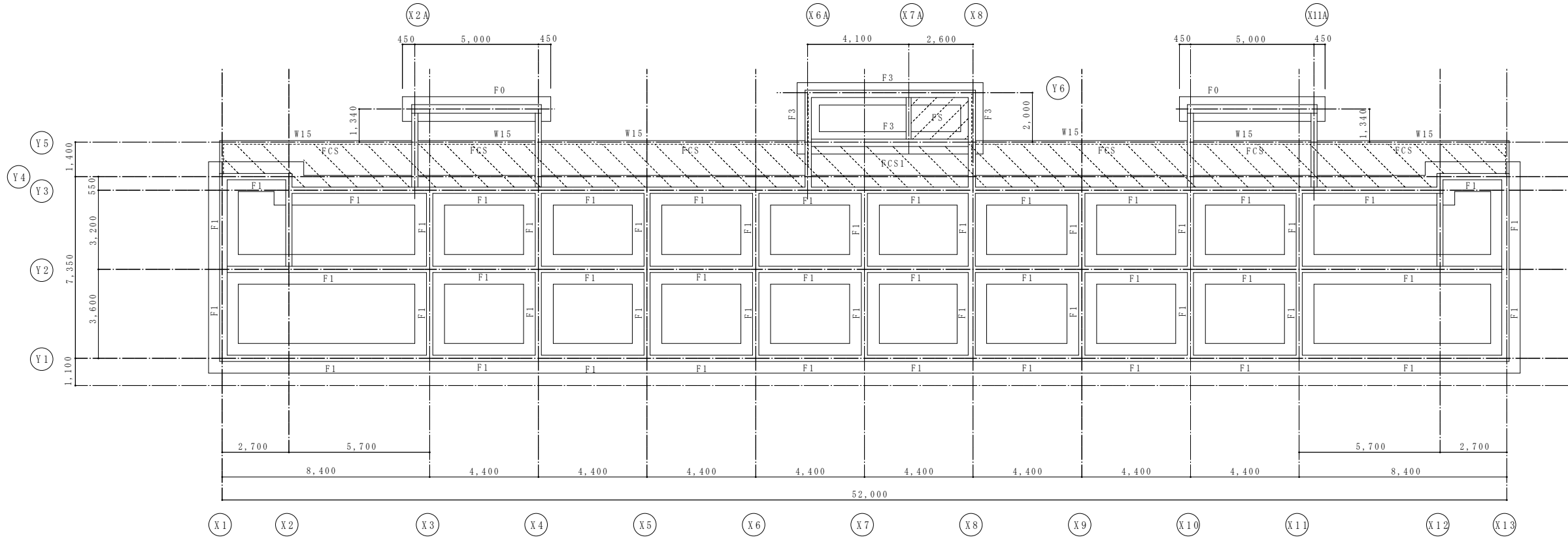
SCALE	A1:1/100 A3:1/200
DATE	2026.03

管理建設士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
建設士事務所	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お(2712)1272号

構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔		
執図	DRAWING	SHEET NO.	S-10



1階梁伏図 1/100
 地中梁天端は全てGLとする。
 斜め破線部分はCS21A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照



基礎伏図 1/100
 FS スラブ天端は GL-1000
 FCS スラブ天端は GL-1200

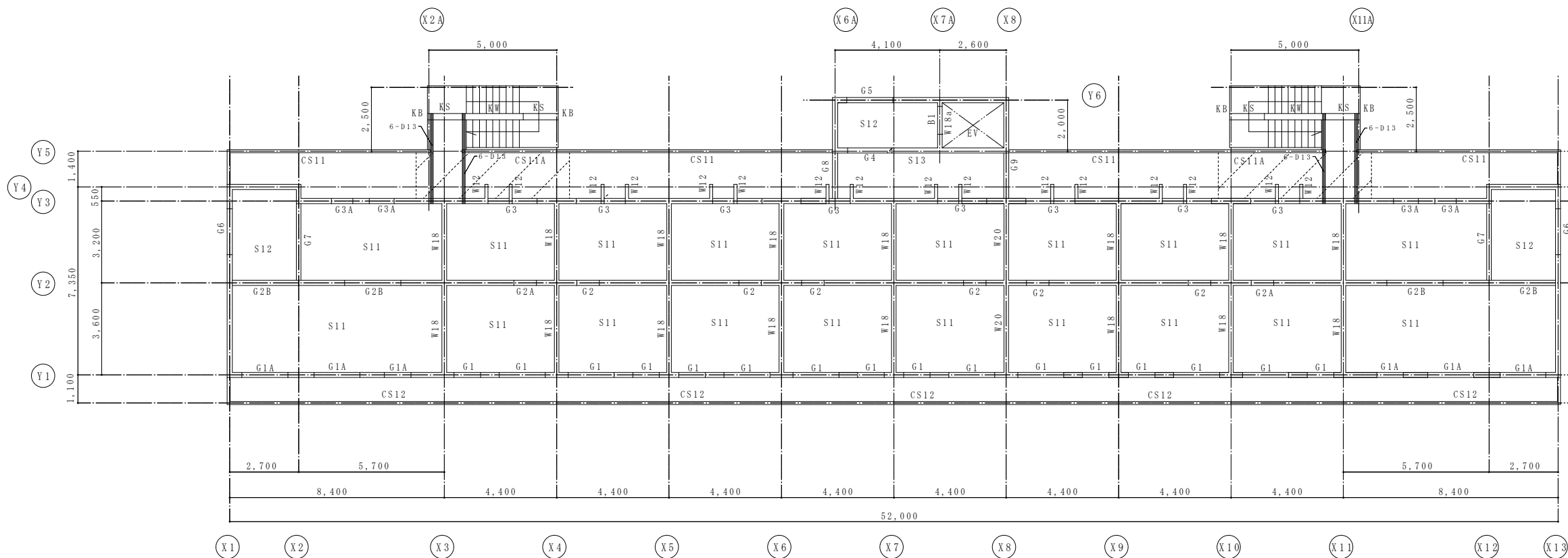
・特記事項


株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	基礎伏図・1階梁伏図

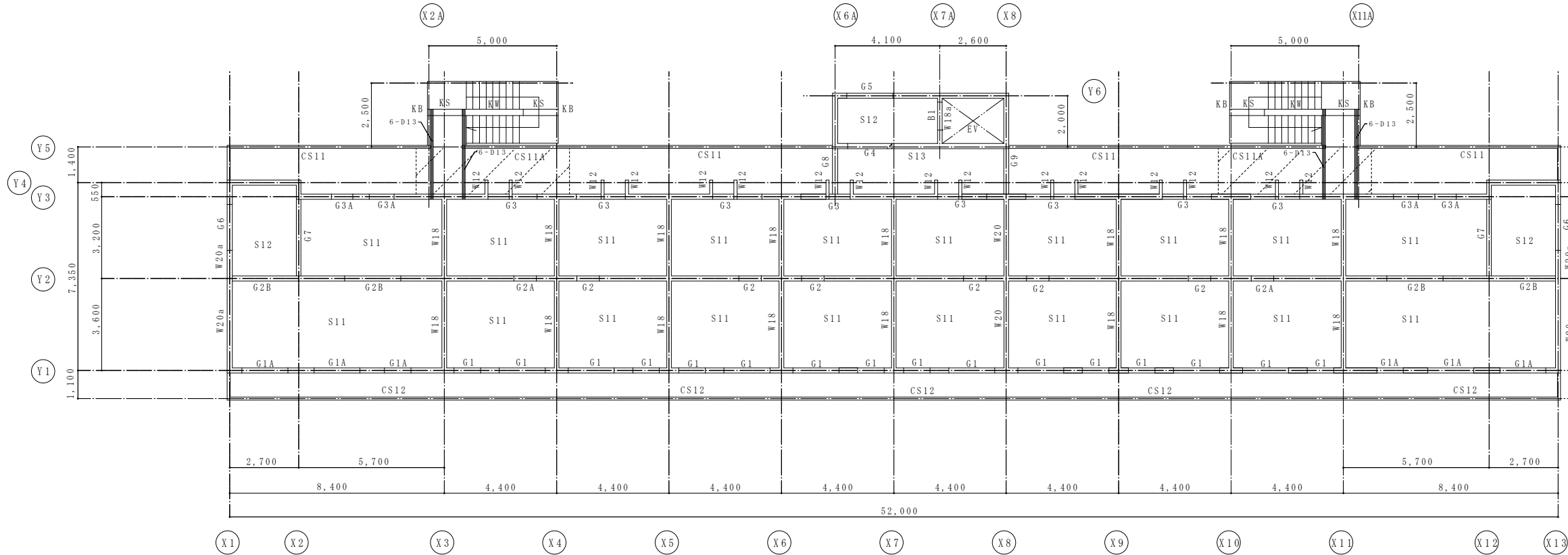
SCALE	A1: 1/100 A3: 1/200
DATE	2026.03

管理階級士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一		
建築士事務所	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号		
構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔		
製図	DRAWING	SHEET NO.	S-11



2階壁・3階梁伏図 1/100

特記なきは壁番号は W20
 G8, G9の梁天端は SL-50
 斜め破線部分はCS11A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照



1階壁・2階梁伏図 1/100

特記なきは壁番号は W20
 G8, G9の梁天端は SL-50
 斜め破線部分はCS11A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照

・特記事項

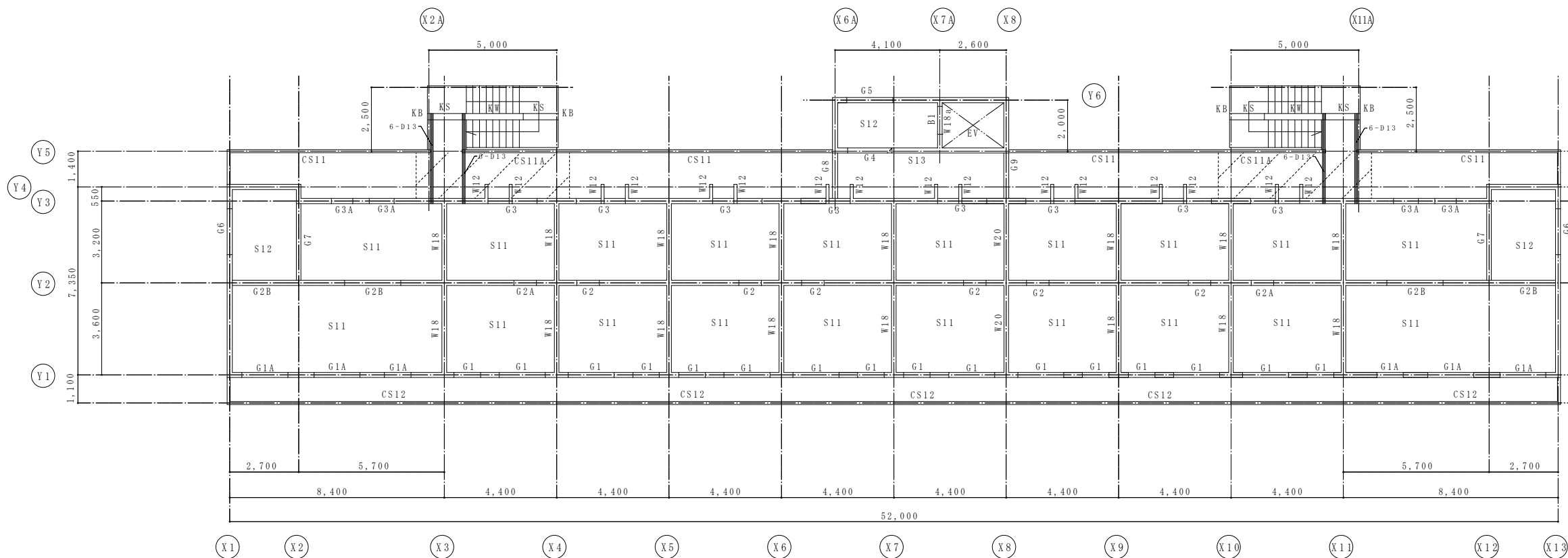

株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	2階壁・3階梁伏図 1階壁・2階梁伏図

SCALE	A1 : 1/100 A3 : 1/200
DATE	2026.03

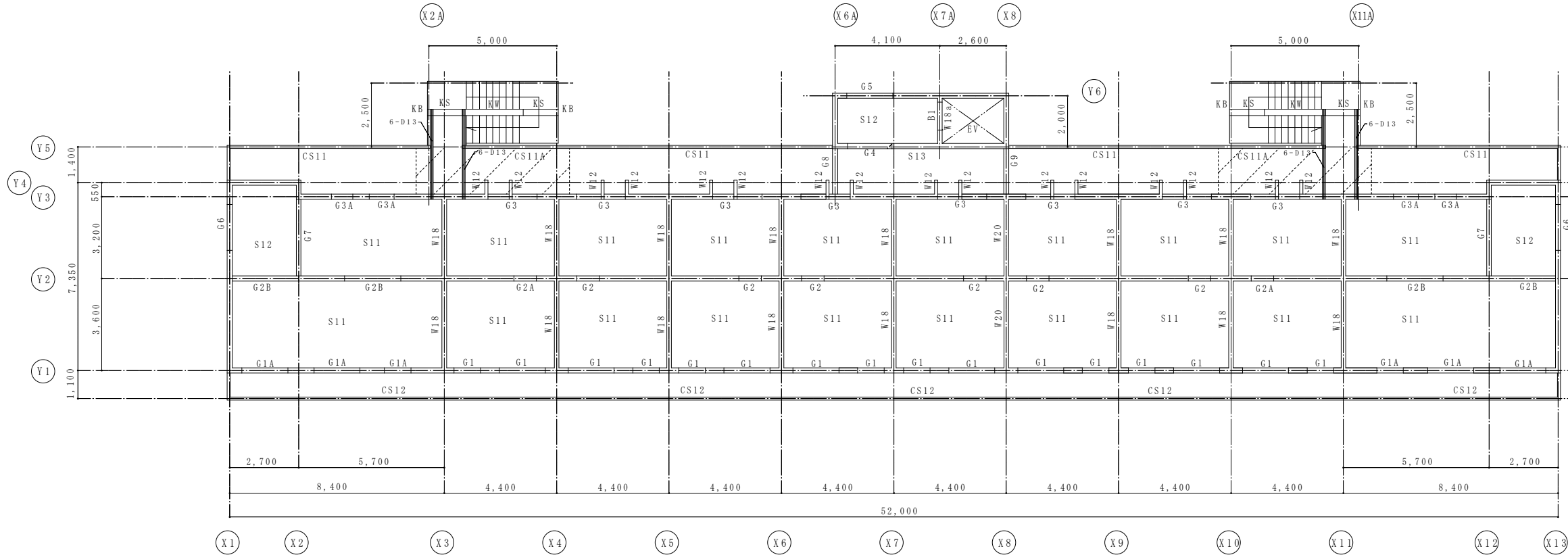
管理階級士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
階級士事務所	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号

構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔		
製図	DRAWING	SHEET NO.	S-12



4階壁・5階梁伏図 1/100

特記なきは壁符号は W20
 G8, G9の梁天端は SL-50
 斜め破線部分はCS11A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照



3階壁・4階梁伏図 1/100

特記なきは壁符号は W20
 G8, G9の梁天端は SL-50
 斜め破線部分はCS11A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照

・特記事項

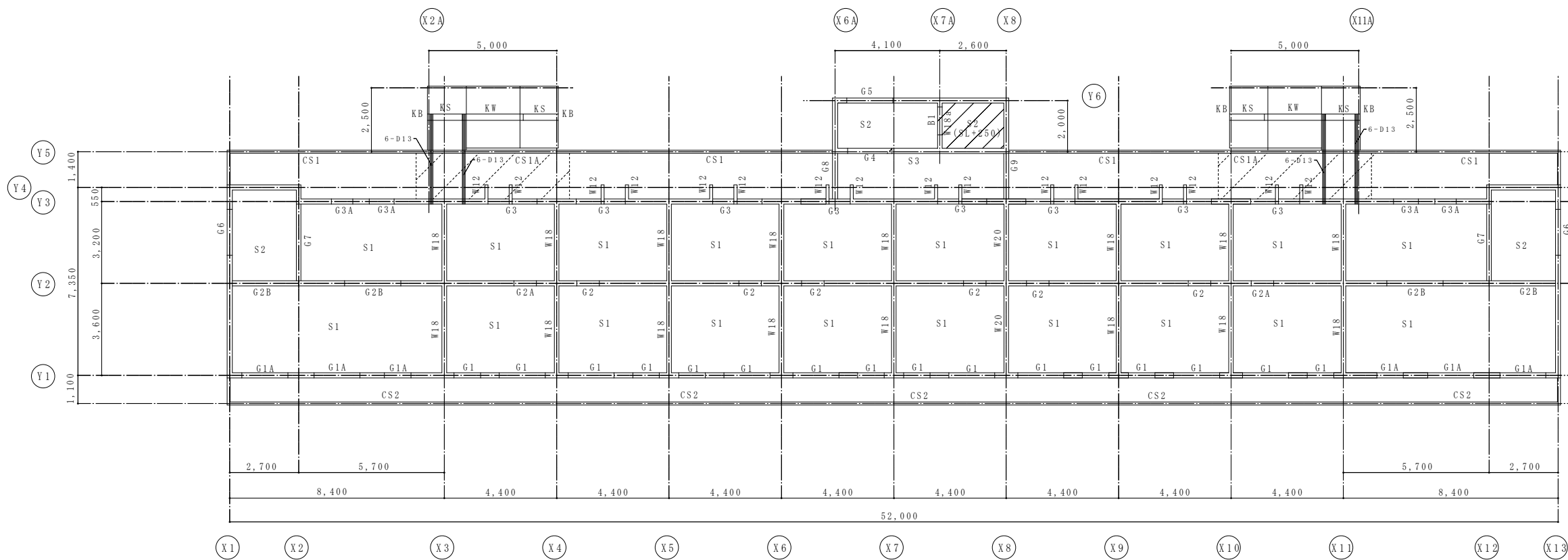

株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	4階壁・5階梁伏図 3階壁・4階梁伏図

SCALE	A1: 1/100 A3: 1/200
DATE	2026.03


管理階級士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
階級士事務所	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号

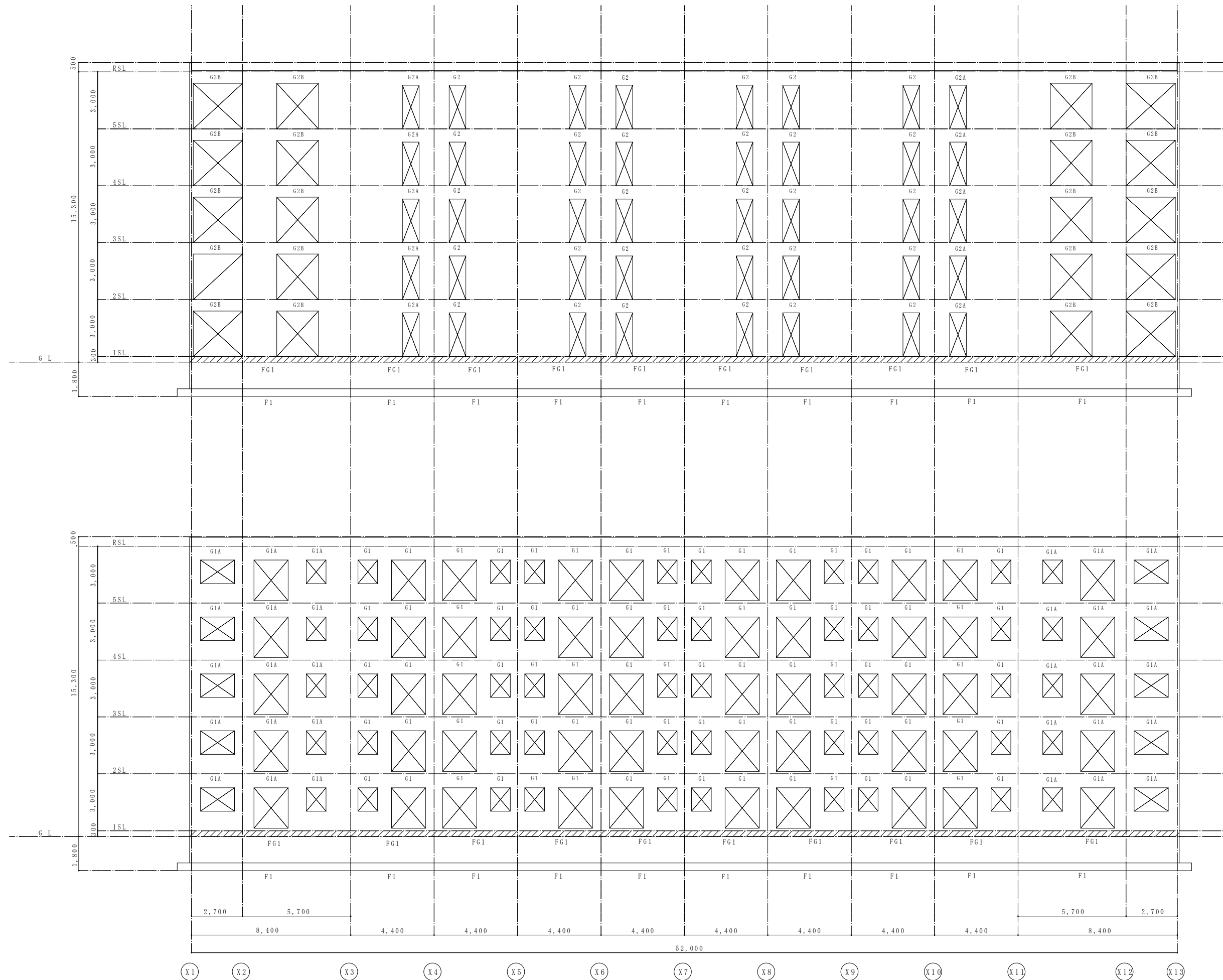
構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
製図	DRAWING SHEET NO. S-13



5階壁・R階梁伏図 1/100

特記なきは壁符号は W20
 G8, G9の梁天端は SL-25
 斜め破線部分はCS1A範囲を示す
 その他、意匠図及び詳細図を参照

・特記事項 	 株式会社 中居都市建築設計 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311	PROJECT 水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事	SCALE A1: 1/100 A3: 1/200	管理階級士 一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一	構造設計 一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
		TITLE 5階壁・R階梁伏図	DATE 2026.03	階級士事務所 一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お(2712)1272号	棟名



Y2 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

Y1 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

・特記事項

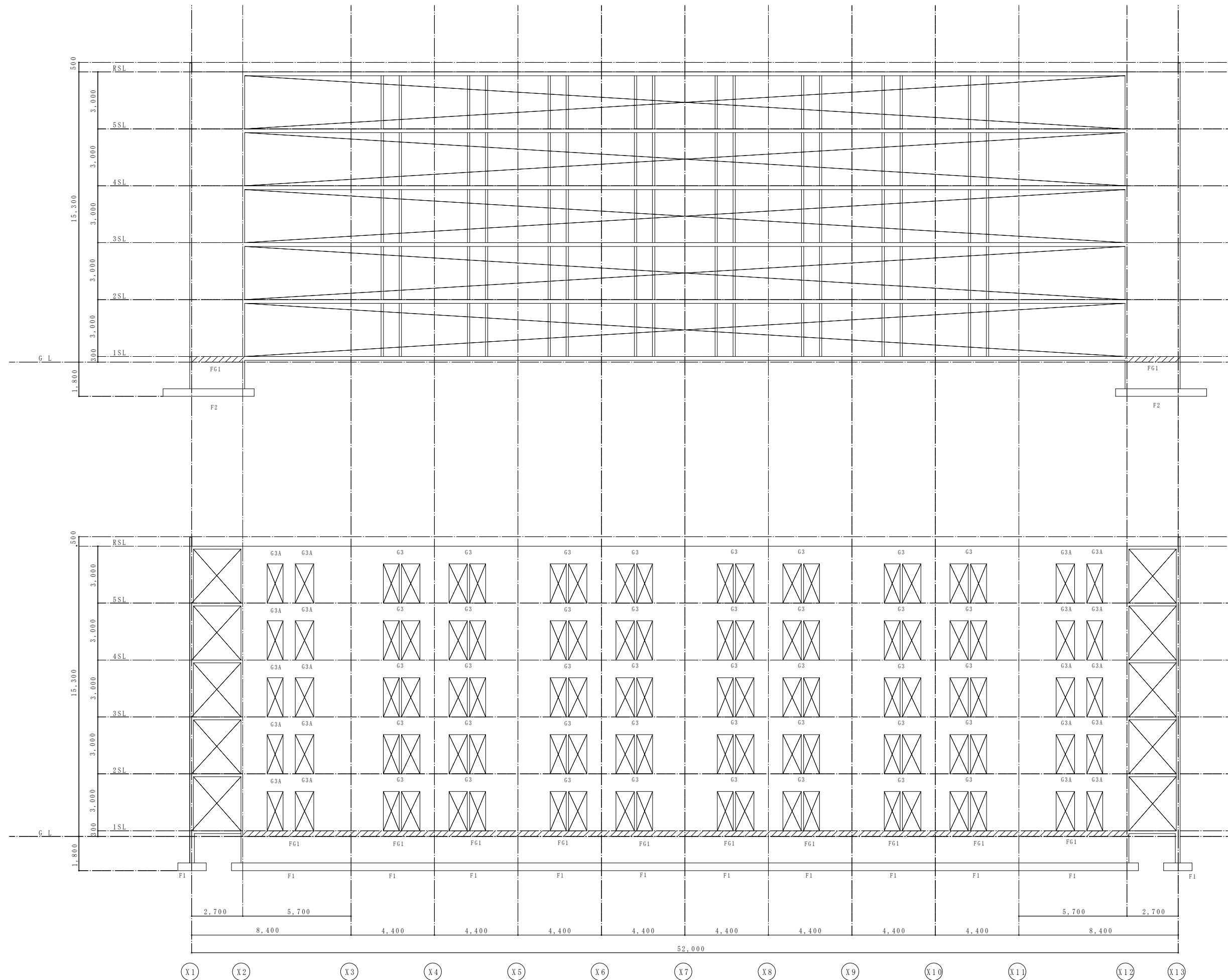

株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT
 水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE
 軸組図 - 1

SCALE
 A1 : 1/100
 A3 : 1/200
DATE
 2026.03

管理階級士
 一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
階級士事務所
 一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号

構造設計
 一級建築士 登録253209号
 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
棟 図
DRAWING
SHEET NO.
 S-15



Y 4 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

Y 3 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

・特記事項


株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT
 水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE
 軸組図 - 2

SCALE
 A1 : 1/100
 A3 : 1/200
DATE
 2026.03

管理階級士
 一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
建築士事務所
 一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号

構造設計
 一級建築士 登録253209号
 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
棟 図
DRAWING
SHEET NO.
 S-16

X 2, X 12 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 4, X 10 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 7 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 6 A 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
G8の梁天端は SL-50
その他、建築意匠図を参照

X 1, X 13 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 3, X 11 通り軸組図 1/100

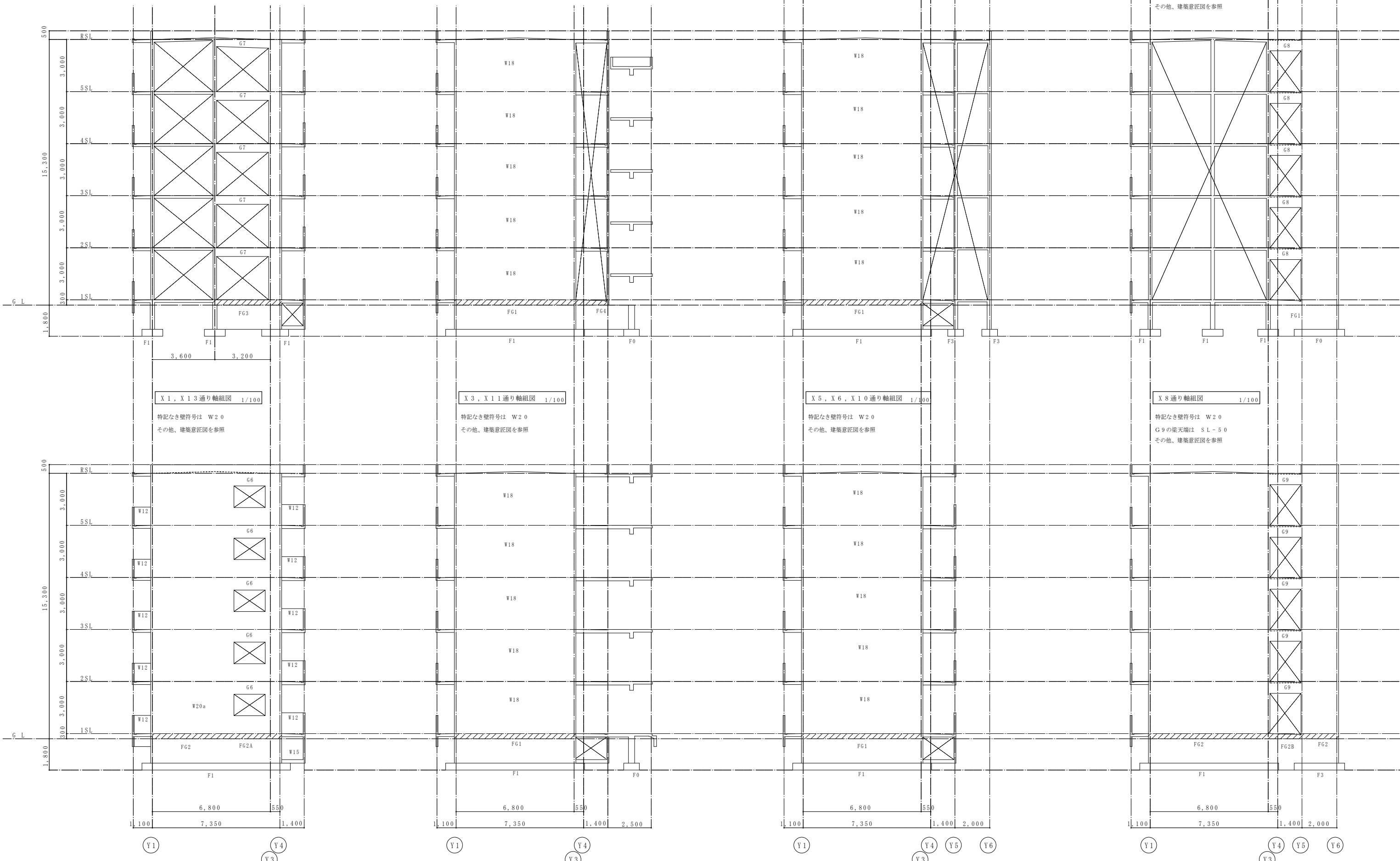
特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 5, X 6, X 10 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
その他、建築意匠図を参照

X 8 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20
G9の梁天端は SL-50
その他、建築意匠図を参照



・特記事項

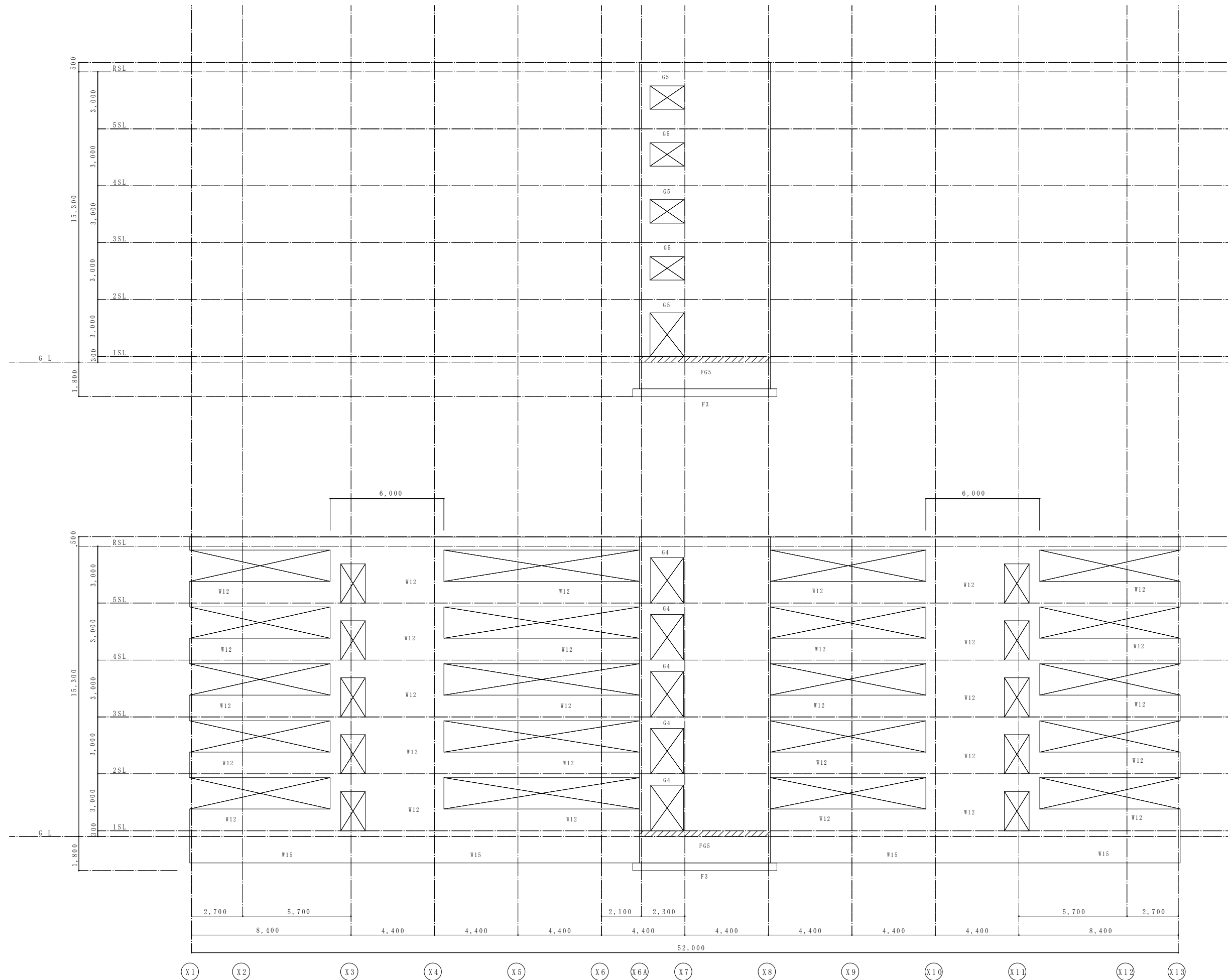
株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	軸組図 - 3

SCALE	A1 : 1/100 A3 : 1/200
DATE	2026.03

管理階級士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
階級士事務所名称	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第61 (2712) 1272号

構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔		
棟 図	DRAWING	SHEET NO.	S-17



Y 6 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

Y 5 通り軸組図 1/100

特記なき壁符号は W20

その他、建築意匠図を参照

・特記事項


株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

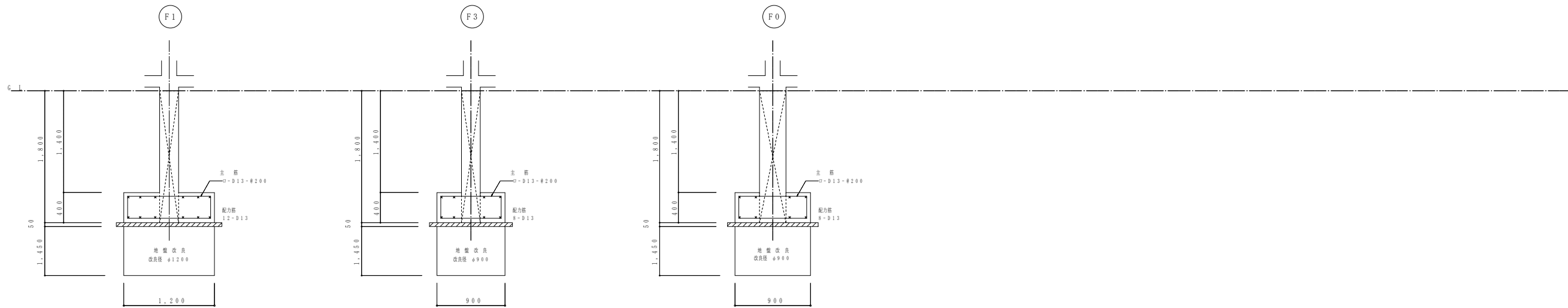
PROJECT 水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE 軸組図 - 4

SCALE
 A1 : 1 / 100
 A3 : 1 / 200
DATE
 2026.03

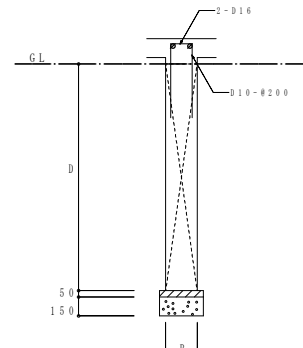
管理建築士
 一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
建築士事務所
 一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第お (2712) 1272号

構造設計
 一級建築士 登録253209号
 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
棟 図 **DRAWING** **SHEET NO.**
 S-18

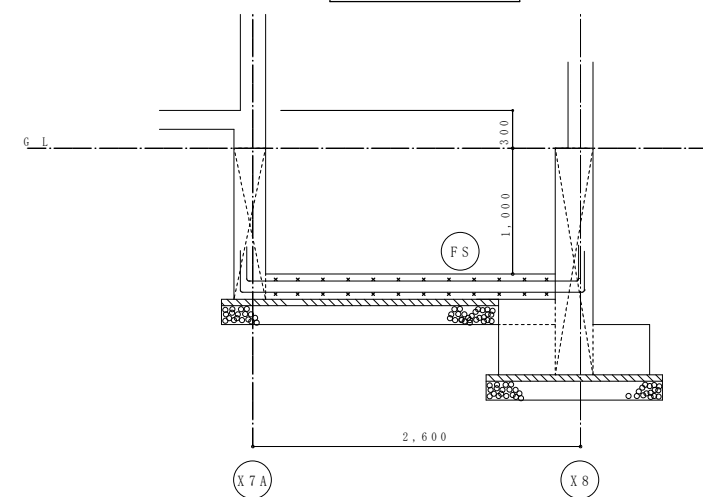
基礎断面図 S=1/30



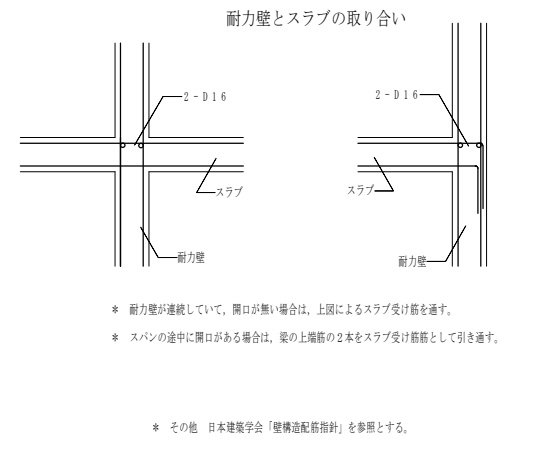
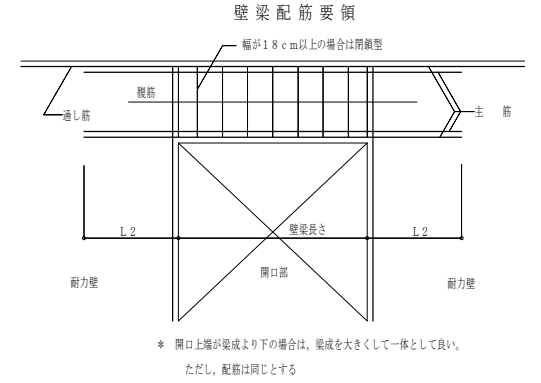
地中梁断面図 1/30 版数 D10 幅止め筋 D10-#1,000								共通事項	
符 号	FG1	FG2	FG2A	FG2B	FG3	FG4	FG5		
位 置	全断面		全断面		全断面		全断面		
断 面									
B X D	250 x 1,800	300 x 1,800	300 x 1,800	300 x 1,800	250 x 1,400	250 x 1,400	300 x 1,800		
上 端 筋	2-D19	2-D22	3/2-D22	3/3-D22	2/1-D19	2/2-D22	3/3-D22		
下 端 筋	2-D19	2-D22	3/2-D22	3/3-D22	2/1-D19	2/2-D22	3/3-D22		
S. T	□-D10-#200	□-D10-#200	□-D13-#150	□-D13-#125	□-D10-#200	□-D10-#150	□-D13-#150		
符 号	FB				FKB				
位 置	全断面				両端部 中央部				
断 面									
B X D	250 x 1,200				350 x 1,800				
上 端 筋	2-D16				4-D22		4-D22		
下 端 筋	2-D16				4-D22		4/4-D22		
S. T	□-D10-#200				□-D13-#200				



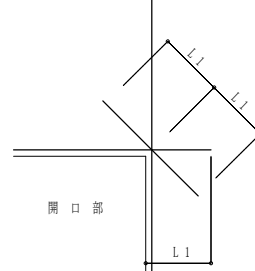
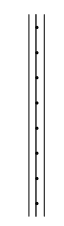

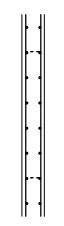





EVピット詳細図 S=1/30



壁梁断面図 1/30 幅止め筋 D10-@1,000															共通事項			
符号	G1	G1A	G2	G2A	G2B	G3	G3A	G4	G5	G6	G7	G8	G9		B1	KB		
位置	全断														全断	先端	元端	
R階断面																		
B X D	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 600	200 X 900	200 X 900	200 X 600	200 X 700	200 X 700	200 X 500	200 X 600	200 X 600		200 X 500	220 X 450	220 X 550	
上端筋	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/1-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16		2-D16	3-D16	3-D16	
下端筋	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/1-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16		2-D16	2-D16	2-D16	
S. T	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@150		□-D10-@200	□-D10-@200		
位置	全断																	
5階断面																		
B X D	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 600	200 X 900	200 X 900	200 X 600	200 X 700	200 X 700	200 X 500	200 X 600	200 X 600					
上端筋	2-D16	2/1-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2-D16	2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16					
下端筋	2-D16	2/1-D16	2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2-D16	2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16					
S. T	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@150	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D13-@150	□-D10-@100	□-D10-@100	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@100					
位置	全断																	
4階断面																		
B X D	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 600	200 X 900	200 X 900	200 X 600	200 X 700	200 X 700	200 X 500	200 X 600	200 X 600					
上端筋	2/1-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16					
下端筋	2/1-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/2-D16	2/1-D16	2/1-D16	2/2-D16					
S. T	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@100	□-D13-@150	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-200	□-D10-@150	□-D10-@200	□-D10-@100					
位置	全断																	
3階断面																		
B X D	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 600	200 X 900	200 X 900	200 X 600	200 X 700	200 X 700	200 X 500	200 X 600	200 X 600					
上端筋	2-D19	2/1-D19	2-D19	2-D19	2/1-D19	2-D19	2-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D16	2-D19	2/1-D19					
下端筋	2-D19	2/1-D19	2-D19	2-D19	2/1-D19	2-D19	2-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D16	2-D19	2/1-D19					
S. T	□-D10-@200	□-D10-@150	□-D13-@150	□-D13-@125	□-D10-@150	□-D10-@200	□-D10-@200	□-D13-@125	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D10-@150	□-D10-@200	□-D13-@125					
位置	全断																	
2階断面																		
B X D	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 700	200 X 600	200 X 900	200 X 900	200 X 600	200 X 800	200 X 700	200 X 500	200 X 600	200 X 600					
上端筋	2-D19	2/1-D19	2-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/2-D19	2/1-D16	2-D19	2/2-D19					
下端筋	2-D19	2/1-D19	2-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/1-D19	2/2-D19	2/1-D16	2-D19	2/2-D19					
S. T	□-D10-@150	□-D10-@125	□-D13-@150	□-D13-@125	□-D10-@100	□-D10-@200	□-D10-@150	□-D13-@125	□-D13-@150	□-D13-@125	□-D10-@150	□-D10-@200	□-D13-@125					

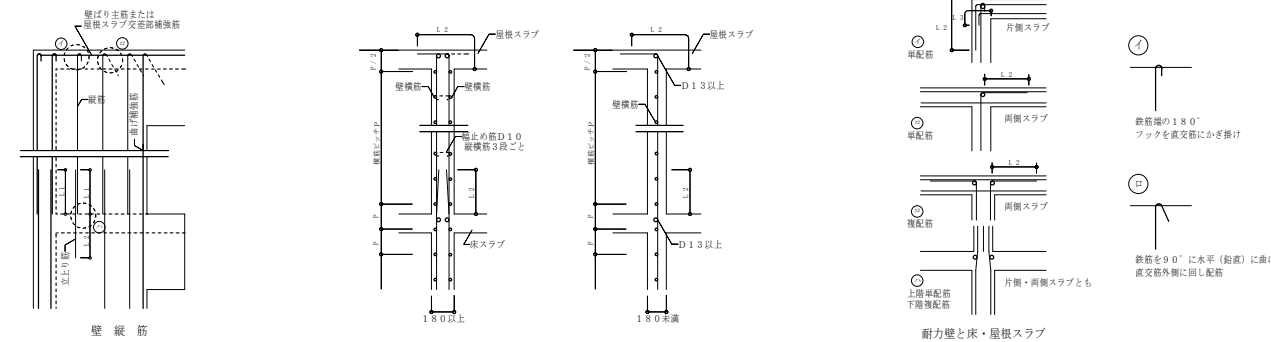


壁断面図 1 / 30 幅止め筋 D10-@1000 (タテ、ヨコ)

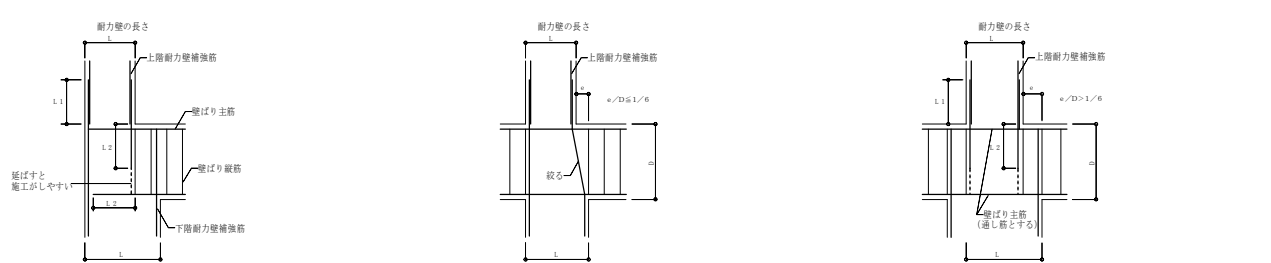
符 号	W12	W15	W18a	W18	W20	W20a	KW	バラベツト	共 通 事 項
壁 厚	120	150	180	180	200	200	220	120	 <p>開口部</p> <p>縦補強筋は梁内定着とする</p> <p>* 特記なき縦補強筋は、壁端部曲げ補強筋リストを参照</p>
断 面									
縦 筋	D10-@200 S	D10-@200 TD	D10-@200 D	D10-@200 D	D10-@200 D	D10-@200 D	D13-@200 D	D10-@200 S	
横 筋	D10-@200 S	D10-@200 TD	D10-@200 D	D10-@200 D	D10-@200 D	D10-@150 D	D10-@150 D	D10-@200 S	
補 強 筋	縦 筋	1-D13	2-D13	2-D13	下記による	下記による	下記による	4-D16	1-D13
	横 筋	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D16	1-D13
	斜 筋	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
備 考	開放部下・バルコニー物置廻り	配管ビット					屋外階段		

耐力壁の配筋標準図 * その他 日本建築学会「壁構造配筋指針」を参照の事。

(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



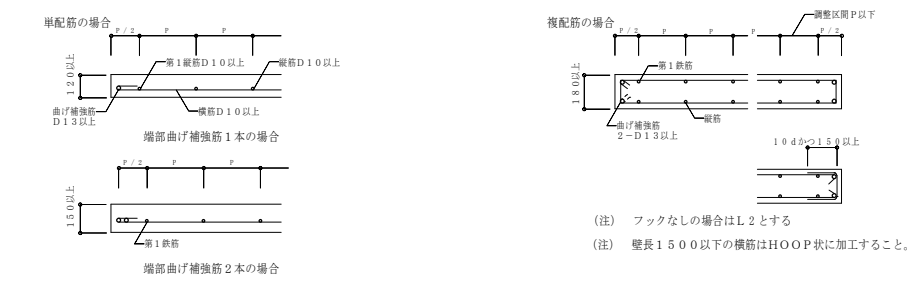
(2) 上・下階耐力壁の各種配置



壁端部曲げ補強筋リスト その他、壁配筋図参照

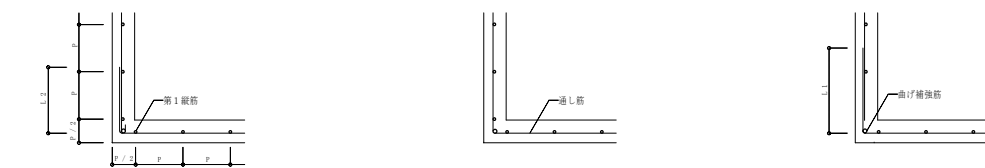
	端 部	交差部	斜 筋	備 考
5階	2-D13	4-D13	2-D13	
4階	2-D13	4-D13	2-D13	
3階	2-D16 (2-D13)	4-D16 (4-D13)	2-D13	()内は壁長 W18a
2階	2-D16 (2-D13)	4-D16 (4-D13)	2-D13	()内は壁長 W18a
1階	2-D19 (2-D13)	4-D16 (4-D13)	2-D13	()内は壁長 W18a 端部筋2-D19を2-D16, 2-D13でも良い

(3) 耐力壁の縦・横筋の配置

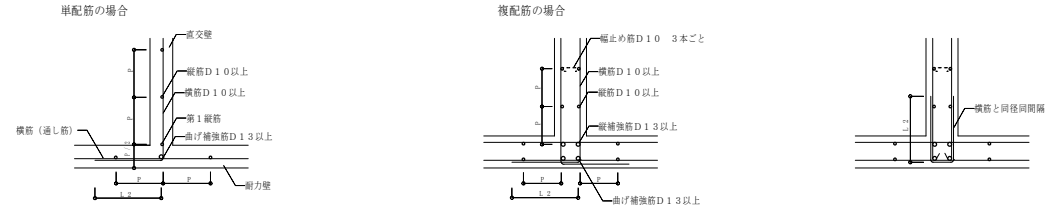


(4) 耐力壁が交差する場合(平面)

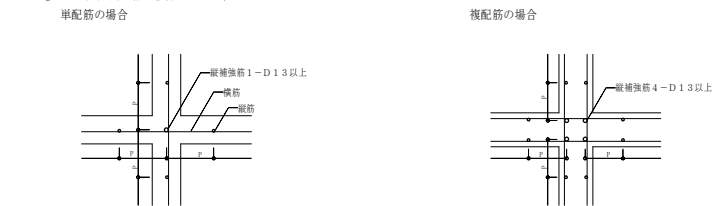
① L形交差部の縦・横筋などの配置



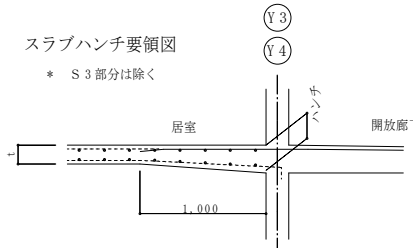
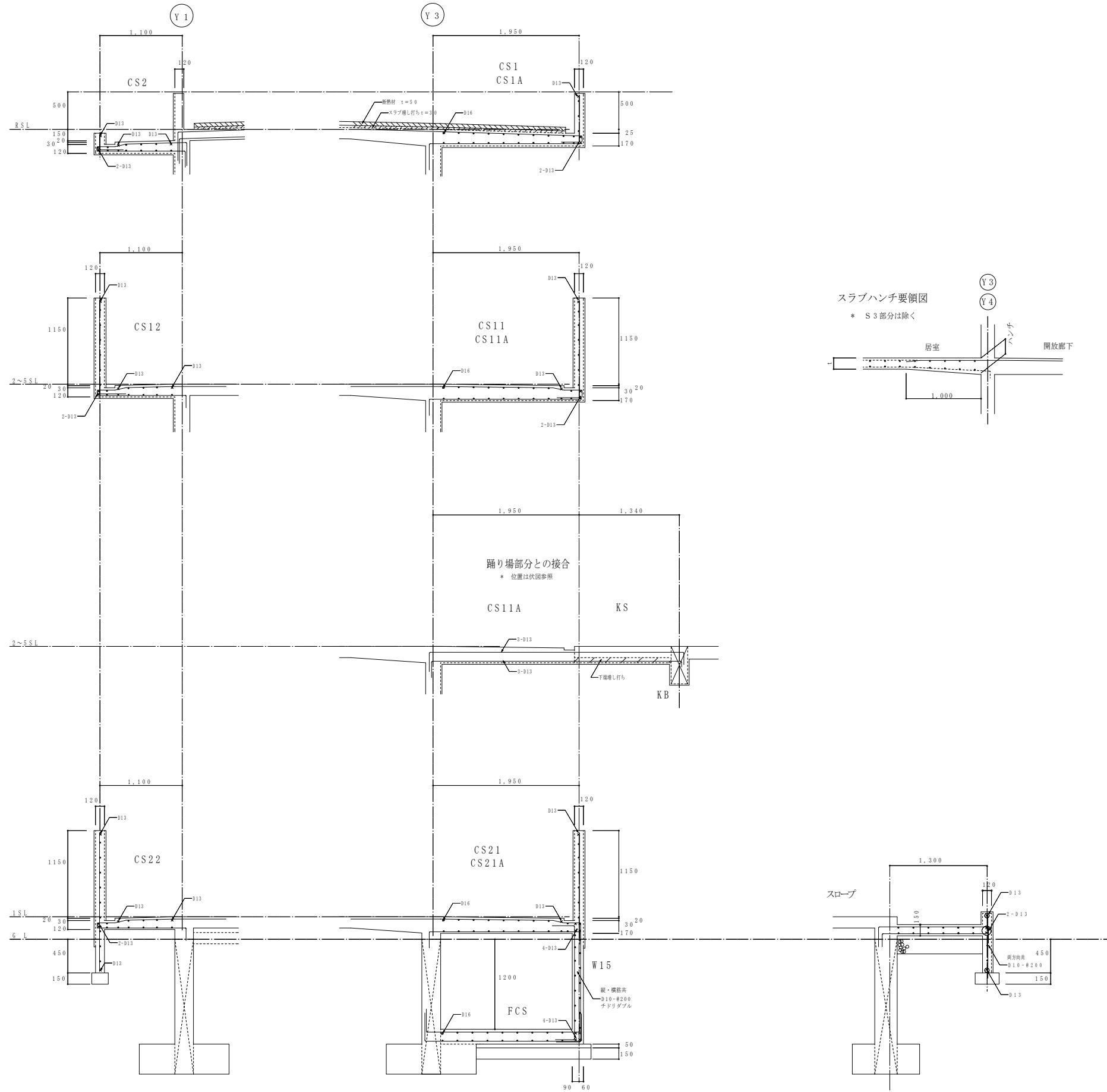
② T形交差部の縦・横筋などの配置

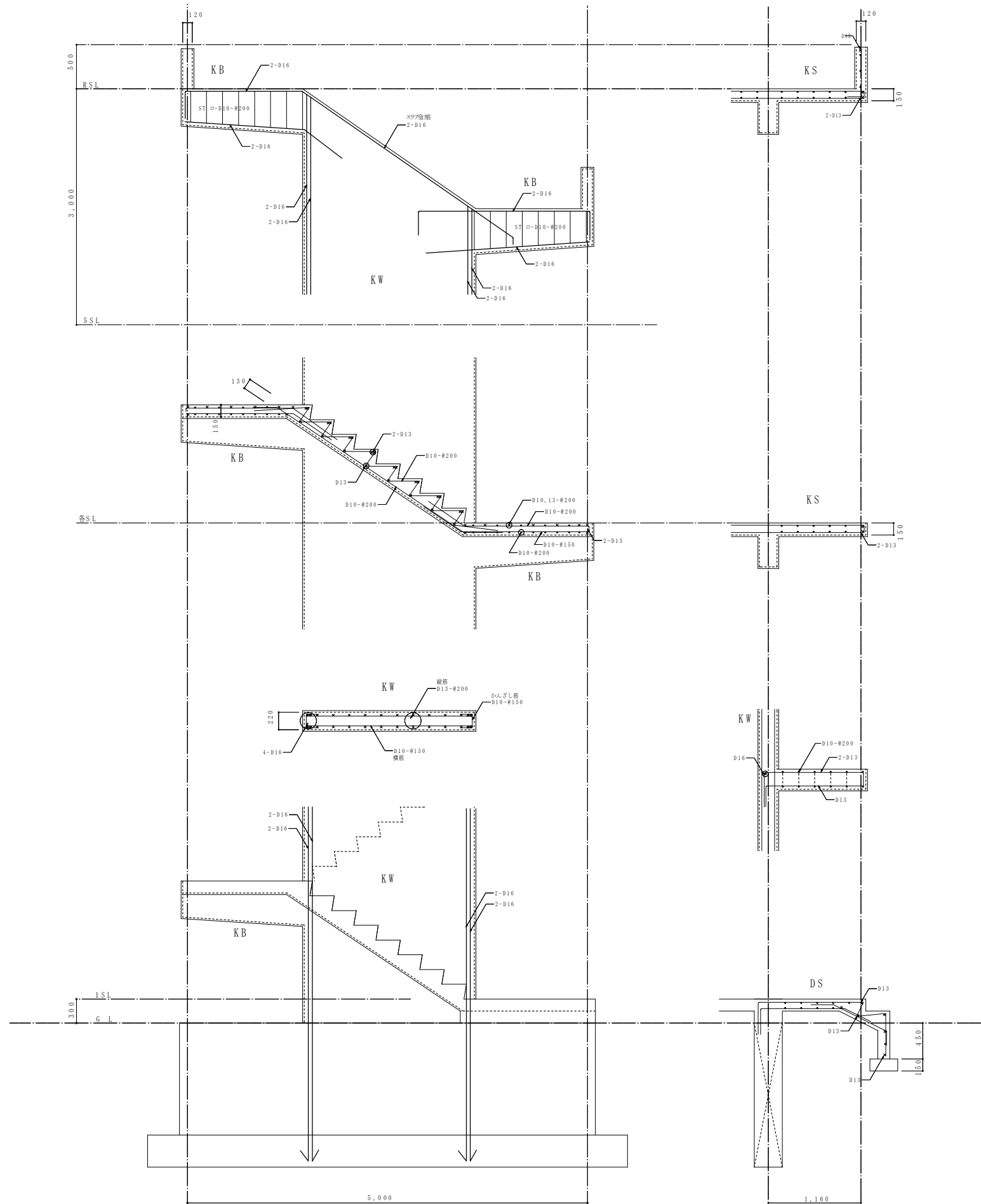


③ 十形交差部の縦・横筋などの配置



床版配筋リスト					
符号	版板	位置	主筋	配筋	備考
S1	150	上端筋	D10-13-#200	D10-#200	屋上(居室部)
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
S2	150	上端筋	D10-13-#200	D10-#250	屋上(EVホール部)
		下端筋	D10-#200	D10-#250	屋上(居室の一部)
S3	220~170	上端筋	D10-13-#200	D10-#200	開放廊下屋根
		下端筋	D10-#200	D10-#200	X6A-X8間
CS1	220~170	上端筋	D13-#150	D10-#200	開放廊下屋根
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS1A	220~170	上端筋	D13-#100	D10-#200	開放廊下屋根(目隠し壁部)
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS2	170~150	上端筋	D10-#150	D10-#200	バルコニー屋根
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
S11	150	上端筋	D10-13-#200	D10-#200	1~5階居室
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
S12	150	上端筋	D10-13-#200	D10-#250	1~5階EVホール
		下端筋	D10-#200	D10-#250	1~5階居室の一部
S13	220~200	上端筋	D10-13-#200	D10-#200	1~5階居室
		下端筋	D10-#200	D10-#200	X6A-X8間
CS11	220~200	上端筋	D13-#125	D10-#200	2~4階 開放廊下
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS11A	220~200	上端筋	D13-#75	D10-#200	2~4階 開放廊下(目隠し壁部)
		下端筋	D10-#150	D10-#200	
CS12	170~150	上端筋	D13-#200	D10-#200	2~4階 バルコニー
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS21	220~200	上端筋	D13-#125	D10-#200	1階 開放廊下
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS21A	220~200	上端筋	D13-#100	D10-#200	1階 開放廊下(目隠し壁部)
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
CS22	170~150	上端筋	D13-#200	D10-#200	1階 バルコニー
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
KS	150	上端筋	D10-13-#200	D10-#200	屋外階段屋根・踊り場
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
FS	200	上端筋	D13-#200	D13-#200	EVビット
		下端筋	D13-#200	D13-#200	
FCS	200	上端筋	D13-#100	D10-#200	配管ビット
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
FCS1	200	上端筋	D10-13-#100	D10-#200	配管ビット
		下端筋	D10-#200	D10-#200	X6A-X8間
DS	150	上端筋	D10-#200	D10-#200	
		下端筋	D10-#200	D10-#200	
スロープ	150	上端筋	D10-#200	D10-#200	
		下端筋	D10-#200	D10-#200	





・特記事項


株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

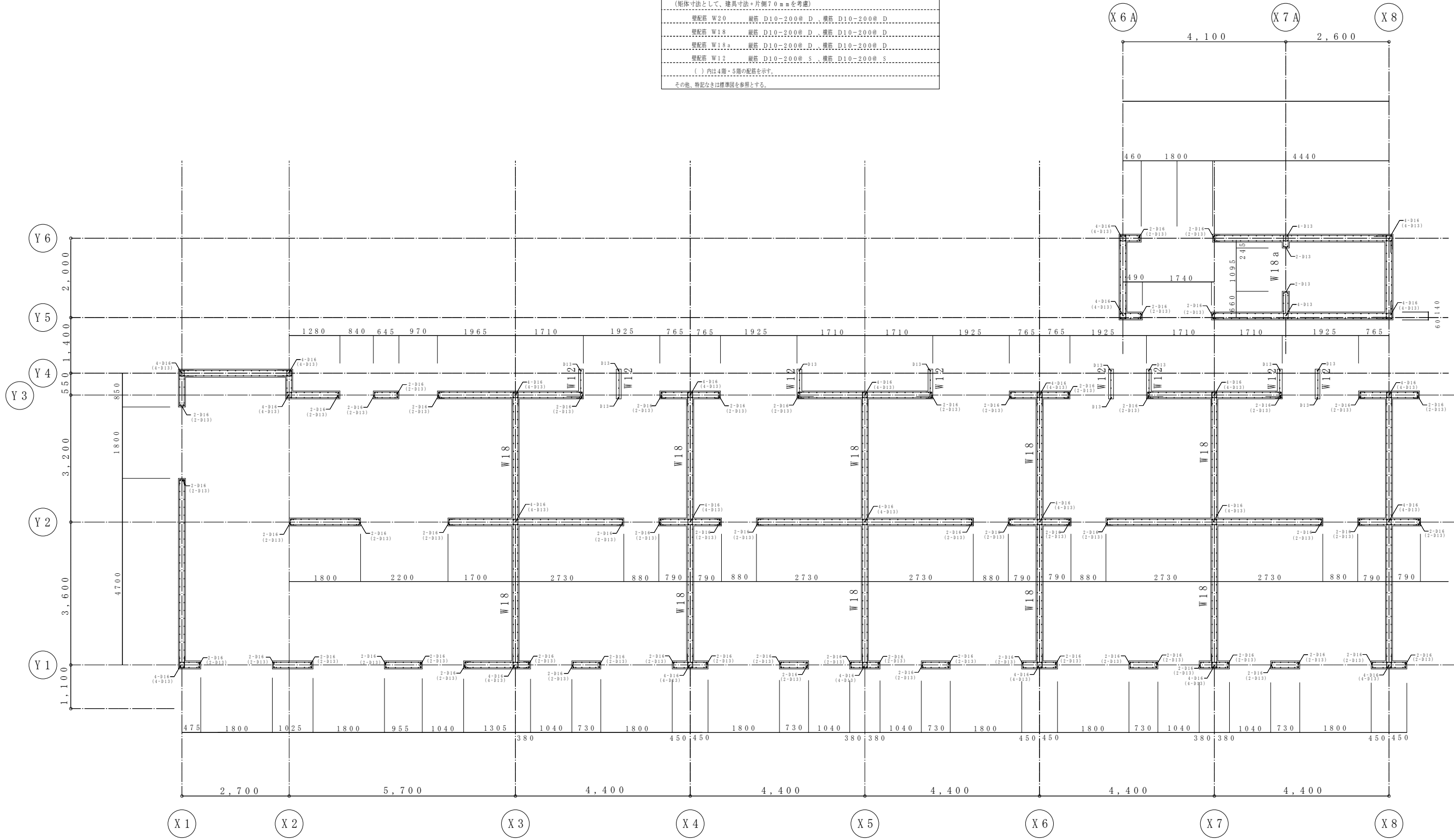
PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	屋外階段詳細図

SCALE	A1 : 1 / 30 A3 : 1 / 60
DATE	2026.03

管理建築士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
建築士事務所	一級建築士事務所 (岩手県) 知事登録 第6号 (2712) 1272号

構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔	
棟 図	DRAWING	SHEET NO.
		S-23

..... 特殊な配筋は全て、W20.とす。
 特殊な配筋は全て、通り筋とする。
 (矩形寸法として、建具寸法+片側70mmを考慮)
 壁配筋 W20 縦筋 D10-200@ D、横筋 D10-200@ D
 壁配筋 W18 縦筋 D10-200@ D、横筋 D10-200@ D
 壁配筋 W18a 縦筋 D10-200@ D、横筋 D10-200@ D
 壁配筋 W12 縦筋 D10-200@ S、横筋 D10-200@ S
 () 内は4階・5階の配筋を示す。
 その他、特記なきは標準図を参照とする。



・特記事項



株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	2~5階壁配筋図

SCALE	A1 : 1 / 50 A3 : 1 / 100
DATE	2026.03

管理階級士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
設計者	一級建築士事務所 (岩手県) 登録第 (2712) 1272号

構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
棟名	
DRAWING	
SHEET NO.	S-25

特記事項

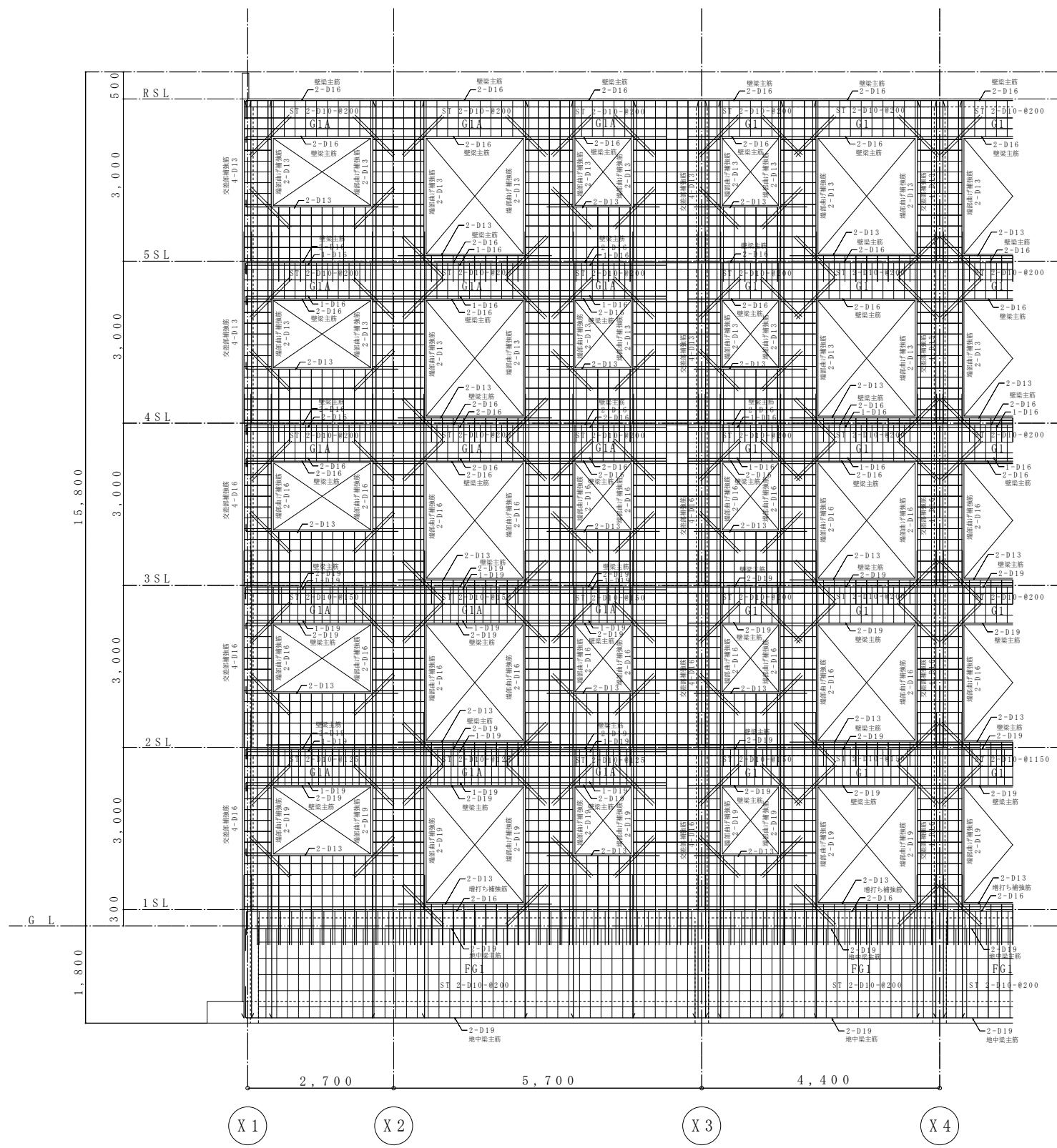
1. 梁主筋の定着長さはL2とし、水平定着部がL2に満たない場合は、直交梁（又は壁）に定着する。
2. 曲げ補強筋、交差部補強筋は上方へ15d以上あるいはスラブ内にL2定着し、下部は地中梁下端まで延長し曲げ込み、余長は200mm確保する。
3. 梁柱主筋の定着は、L2または上階スラブより上方へ15d以上とする。
4. 開口補強筋は別紙に示す。2-D19とする。

* 曲げ補強筋が各段とも兼ね手となっているが、鉄筋の定尺を考慮、必ずしも各段に両手を設けなくてもよい。

その他、特記なきは標準図及び壁配筋図を参照とする。

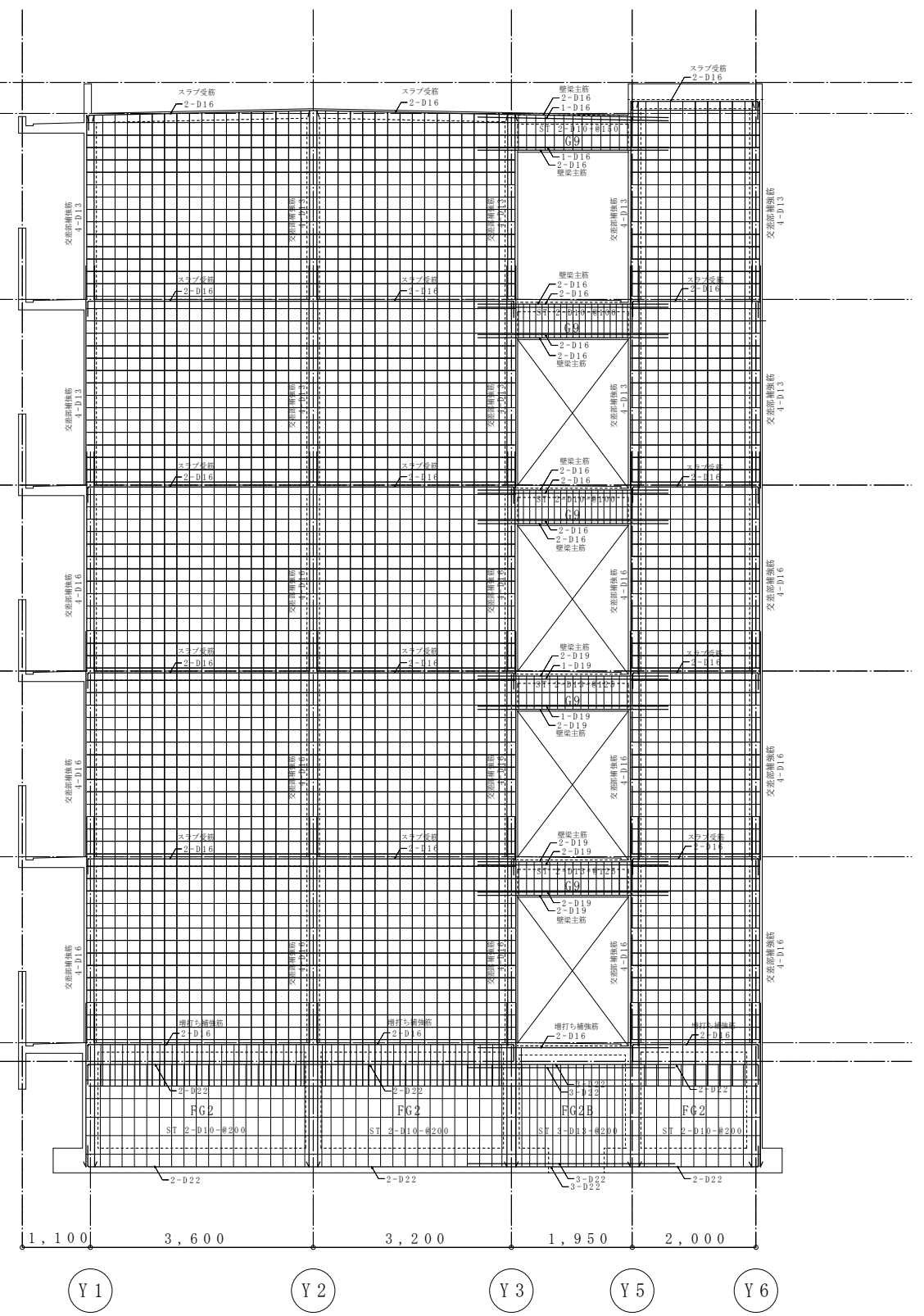
Y1通り配筋図 S=1/50

特記なき壁番号は W20



X8通り配筋図 S=1/50

特記なき壁番号は W20



・特記事項	

株式会社 中居都市建築設計
 keiichi-nakai architecture design Co.,Ltd
 岩手県盛岡市南大通二丁目1-20 TEL 019-654-2311

PROJECT	水沢競馬場 新厩務員宿舎新築工事
TITLE	壁配筋詳細図

SCALE	A1: 1/50 A3: 1/100
DATE	2026.03

管理設計士	一級建築士 (建設大臣) 登録317540号 中居 真一
構造設計	一級建築士 登録253209号 構造設計一級建築士 登録5537号 久保 稔
監工	一級建築士事務所 (岩手県) 登録 第16 (2712) 1272号
DRAWING	
SHEET NO.	S-26